

# 富士市の工業

(令和2年度)



富士市産業経済部産業政策課

## お知らせ

今年度の『富士市の工業』から、掲載内容を  
一部変更させていただきました。

# 目 次

## I 富士市の工業の概要

1 工業関係統計調査結果 .....	1
(1) 令和元年工業統計調査結果（速報）概要 .....	1
ア 事業所数（従業者4人以上の事業所） .....	2
イ 従業者数（従業者4人以上の事業所） .....	2
ウ 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所） .....	3
エ 現金給与総額（従業者4人以上の事業所） .....	3
オ 原材料使用額等（従業者4人以上の事業所） .....	3
カ 在庫総額（従業者30人以上の事業所） .....	3
キ 付加価値額（従業者30人以上の事業所） .....	3
ク 有形固定資産投資総額（従業者30人以上の事業所） .....	3
(2) 従業者規模別事業所数等（従業者4人以上の事業所） .....	4
(3) 産業別、従業者規模別事業所数（従業者4人以上の事業所） .....	4
(4) 産業別の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の構成比 .....	5
ア 事業所数（従業者4人以上の事業所） .....	5
イ 従業者数（従業者4人以上の事業所） .....	6
ウ 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所） .....	7
(5) 製造品出荷額等及び上位構成産業の推移（従業者4人以上の事業所） .....	8
2 県内における富士市の工業の位置 .....	9
(1) 事業所数・従業者数・製造品出荷額等のシェアの推移 .....	9
ア 事業所数・従業者数（従業者4人以上の事業所） .....	9
イ 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所） .....	10
(2) 県内市別の事業所数・従業者数・製造品出荷額等 .....	11
ア 全事業所 .....	11
イ 従業者4人以上の事業所 .....	12
(3) 静岡県内上位5市の製造品出荷額等の推移（従業者4人以上の事業所） .....	13

## II 富士市の地場産業（パルプ・紙産業）の概要

1 富士市域の製紙のあけぼの .....	14
2 日本の製紙業の興りと富士市域における発展 .....	14
3 戦後の製紙業 .....	15

4	近況	1 5
5	地場産業（パルプ・紙産業）の年次別推移（従業者4人以上の事業所）	1 6
6	平成29年地場産業（パルプ・紙産業）の内訳（従業者4人以上の事業所）	1 6
7	富士市の地場産業（パルプ・紙産業）の位置	1 7
(1)	事業所数	1 7
(2)	令和元年品種別生産量及び構成比	1 7
8	ペーパースラッジ（P S）の処理・処分状況	1 9
(1)	平成30年度ペーパースラッジ（P S）の処理・処分状況	1 9
(2)	P S発生量及び処理状況推移	2 0
9	製紙機械産業の概要	2 1
(1)	発展過程と現状	2 1
(2)	静岡県のパルプ装置・製紙機械産業の年次別推移（従業者4人以上の事業所）	2 1
(3)	富士市のパルプ装置・製紙機械産業の年次別推移（従業者4人以上の事業所）	2 1

### III 富士市の立地企業及び団地の概要

1	主要企業、工業団地等	2 2
(1)	産業分類別の事業所数、敷地面積（従業者30人以上の事業所）	2 2
(2)	主要進出企業の状況	2 3
(3)	主要企業の立地状況（従業者300人以上）	2 4
(4)	工業団地の概要	2 5

### IV 富士市の港湾の概要

1	港湾・貿易	3 0
(1)	田子の浦港の沿革	3 0
(2)	田子の浦港湾の区域	3 1
(3)	航路標識及び公共、専用岸壁	3 1
(4)	港湾施設配置図	3 2
(5)	令和元年田子の浦港貿易概況	3 3
ア	貿易額	3 3
イ	輸出	3 3
ウ	輸入	3 3
(6)	田子の浦港海上出入貨物の推移	3 4
(7)	令和元年田子の浦港海上出入貨物の構成	3 5

(8) 令和元年田子の浦港入港船舶の構成	3 6
(9) 田子の浦港入港船舶の推移	3 7
(10) 主要輸入品の年次推移	3 8
(11) 主要移入品の年次推移	3 8

## V 富士市の工業基盤・資源の概要

1 工業用水道	3 9
(1) 東駿河湾工業用水道	3 9
ア 施設の概要	3 9
イ 年度別給水状況	3 9
(2) 富士川工業用水道	4 0
ア 施設の概要	4 0
イ 年度別給水状況	4 0
(3) 工業用水道業種別契約水量の推移	4 1
ア 東駿河湾工業用水道	4 1
イ 富士川工業用水道	4 1
2 工業用水	4 2
(1) 工業用水利用状況	4 2
ア 平成 29 年工業用水使用量水源別構成比（従業者 30 人以上の事業所）	4 2
イ 工業用水使用量の推移（従業者 30 人以上の事業所）	4 2
ウ 平成 29 年産業分類別工業用水利用状況（従業者 30 人以上の事業所）	4 3
(2) 平成 29 年市町別の水源別用水量（従業者 30 人以上の事業所）	4 4
3 工業排水（岳南排水路）	4 5
(1) 概要	4 5
(2) 岳南排水路の利用状況	4 5
ア 排水管路別工場数	4 5
イ 管路別年間排出量	4 5
ウ 事業所別排出量の割合	4 5
エ 年間総排水量の経年変化	4 6



# I 富士市の工業の概要

## 1 工業関係統計調査結果

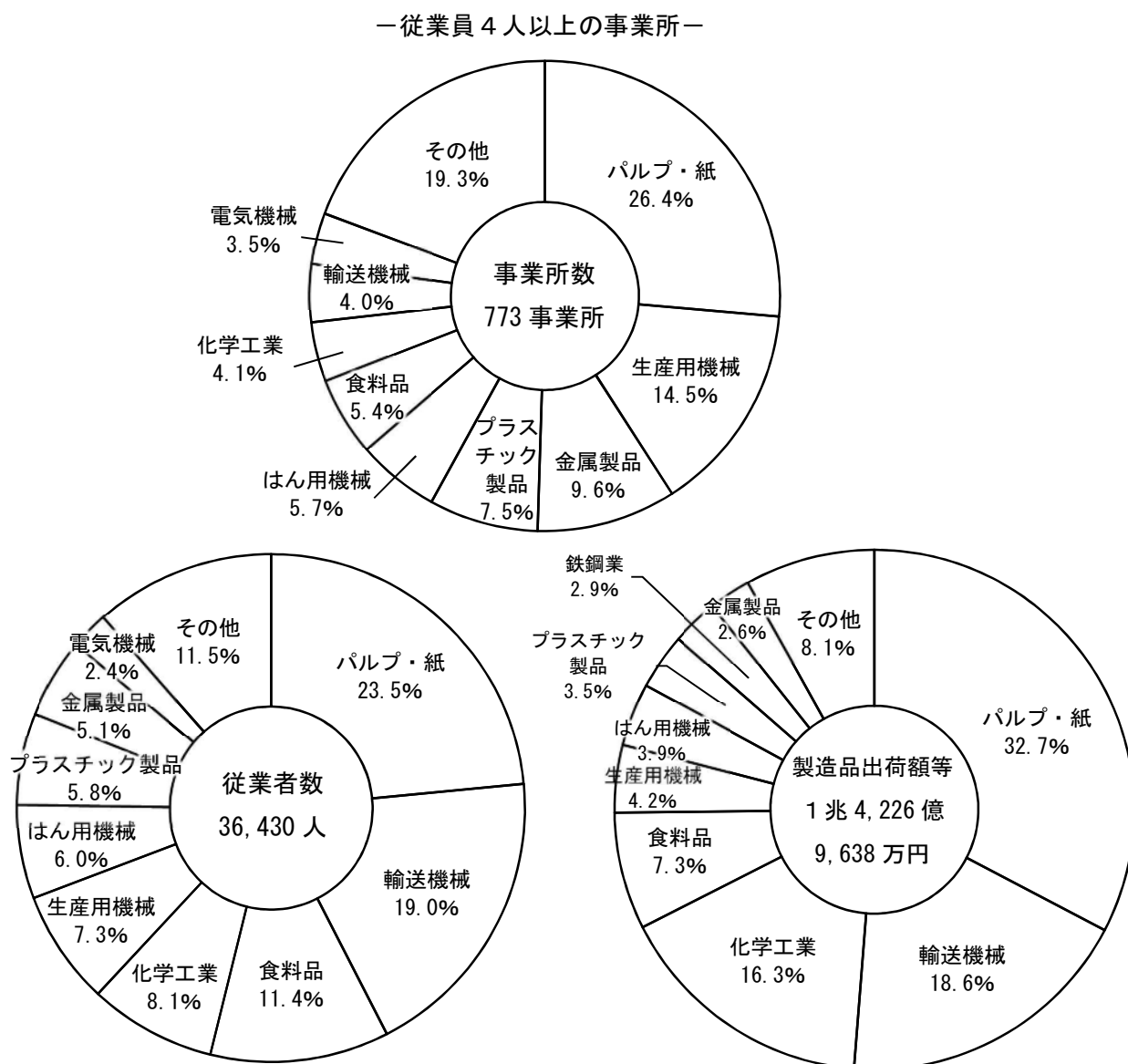
### (1) 令和元年工業統計調査結果（速報）概要

令和元年6月1日現在における富士市の製造業に属する事業所(従業者4人以上)は773事業所、従業者数は36,430人であり、製造品出荷額等は1兆4,226億9千6百万円となっている。

これらを前年の数値と比較すると、事業所数は19事業所(2.4%)の減少、従業者数は20人(0.1%)の減少、製造品出荷額等は410億5千1百万円(3.0%)の増加となった。

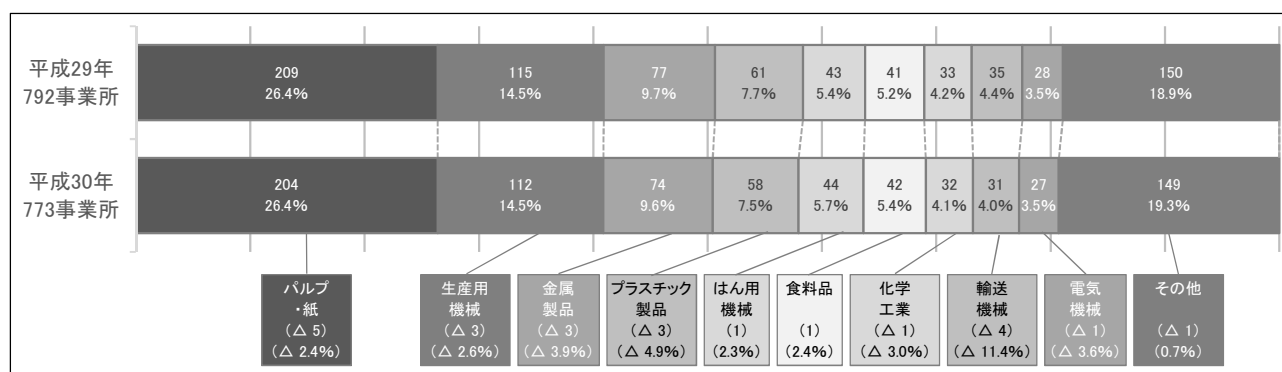
また、県下市町別の製造品出荷額等をみると、第1位は静岡市(2兆1,218億円)で県下の総製造品出荷額等の12.1%を占め、次いで浜松市1兆9,976億円(11.4%)、湖西市1兆7,327億円(9.9%)、磐田市1兆4,587億円(8.3%)、富士市1兆4,227億円(8.1%)の順となっており、この5市で県全体の49.9%を占めている。

資料：静岡県「2019年工業統計調査（速報）」



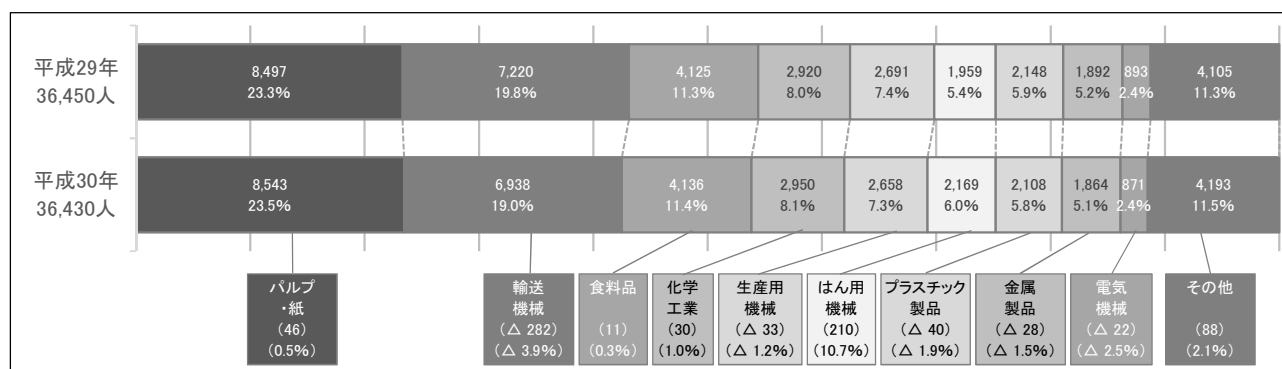
資料：富士市「2019年工業統計調査結果速報」

## ア 事業所数 — 773 事業所 —（従業者 4 人以上の事業所）



- 前年に比べ全体で 19 事業所（2.4%）減少
- 前年に比べ増加した産業は 5 種類（はん用機械 1 事業所（2.3%）、食料品 1 事業所（2.4%）等）
- 前年に比べ減少した産業は 10 種類（パルプ・紙 5 事業所（2.4%）、輸送機械 4 事業所（11.4%）等）
- 平成 29 年において、従業者規模別では従業者規模 4 人～29 人の小規模事業所が 563 事業所（71.1%）、30 人～299 人の中規模事業所が 213 事業所（26.9%）、300 人以上の大規模事業所が 16 事業所（2.0%）

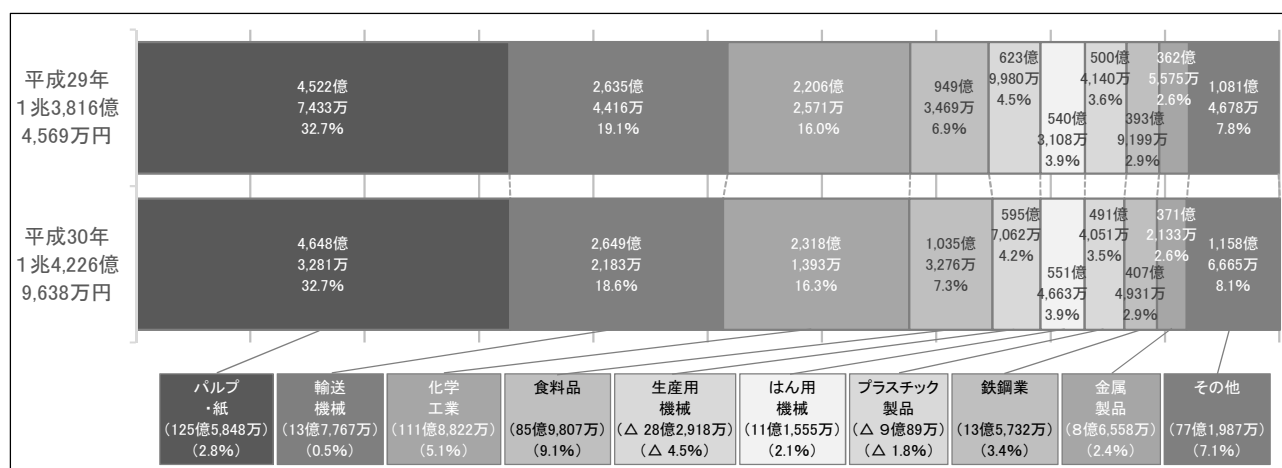
## イ 従業者数 — 36,430 人 —（従業者 4 人以上の事業所）



- 前年に比べ全体で 20 人（0.1%）減少
- 前年に比べ増加した産業は 13 種類（はん用機械 210 人（10.7%）、パルプ・紙 46 人（0.5%）等）
- 前年に比べ減少した産業は 9 種類（輸送機械 282 人（3.9%）、プラスチック製品 40 人（1.9%）等）
- 平成 29 年において、従業者規模別では従業者規模 30 人～299 人の中規模事業所が 17,357 人（47.6%）、300 人以上の大規模事業所が 11,829 人（32.5%）、4 人～29 人の小規模事業所が 7,264 人（19.9%）



ウ 製造品出荷額等 — 1兆4,226億9,638万円 — (従業員4人以上の事業所)



- 前年に比べ全体で410億5,069万円(3.0%)増加
- 前年に比べ増加した産業は16種類(パルプ・紙125億5,848万円(2.8%)、化学工業111億8,822万円(5.1%)等)
- 前年に比べ減少した産業は5種類(生産用機械28億2,918万円(4.5%)、プラスチック製品9億89万円(1.8%)等)
- 平成29年において、従業員規模別では従業員規模30人～299人の中規模事業所が7,174億7,610万円(51.9%)、300人以上の大規模事業所が5,035億1,430万円(36.4%)、4人～29人の小規模事業所が1,606億5,569万円(11.6%)

エ 現金給与総額 — 1,739億8,596万円 — (従業員4人以上の事業所)

- 平成29年において、前年に比べ全体で42億1,360万円(2.5%)増加
- 平成29年において、構成比が最大の産業は輸送機械453億3,349万円(26.1%)で、パルプ・紙398億3,792万円(22.9%)がこれに続く

オ 原材料使用額等 — 8,640億383万円 — (従業員4人以上の事業所)

- 平成29年において、前年に比べ全体で414億5,806万円(5.0%)増加
- 平成29年において、構成比が最大の産業はパルプ・紙2,830億3,705万円(32.8%)で、輸送機械1,632億4,178万円(18.9%)がこれに続く

カ 在庫総額 — 1,471億795万円 — (従業員30人以上の事業所)

- 平成29年において、年初在庫総額に比べ全体で142億4,918万円(10.7%)増加

キ 付加価値額 — 3,907億1,565万円 — (従業員30人以上の事業所)

- 平成29年において、前年に比べ全体で38億3,939万円(1.0%)減少

ク 有形固定資産投資総額 — 617億5,383万円 — (従業員30人以上の事業所)

- 平成29年において、前年に比べ全体で39億858万円(6.0%)減少

資料：アからウは富士市「2019年工業統計調査結果速報」及び富士市「平成30年工業統計調査結果」、エからクは富士市「平成30年工業統計調査結果」

## (2) 従業者規模別事業所数等（従業者４人以上の事業所）

従業者規模	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)	現金給与総額 (万円)	原材料使用額等 (万円)
総数	792	36,450	138,164,569	17,398,596	86,400,383
４～９人	237	1,554	2,685,066	548,059	1,544,306
10～19人	212	2,900	6,010,767	1,081,032	3,337,757
20～29人	114	2,810	7,369,696	1,105,792	4,406,895
30～49人	79	3,050	10,737,083	14,663,713	77,111,425
50～99人	81	5,459	20,157,126		
100～299人	53	8,848	40,853,401		
300人以上	16	11,829	50,351,430		

資料：富士市「平成 30 年工業統計調査結果」

## (3) 産業別、従業者規模別事業所数（従業者４人以上の事業所）

単位：事業所

	総数	規模別（人）								
		4～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～299	300～499	500～999	1,000人以上
総数	792	237	212	114	79	81	53	9	3	4
９ 食料品	41	6	8	5	4	5	8	4	1	—
10 飲料・たばこ・飼料	16	9	4	—	—	2	1	—	—	—
11 繊維工業	17	10	4	1	2	—	—	—	—	—
12 木材・木製品	13	3	6	—	2	—	2	—	—	—
13 家具・装備品	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—
14 パルプ・紙	209	44	49	40	28	26	21	1	—	—
15 印刷	17	7	6	2	2	—	—	—	—	—
16 化学工業	33	8	4	2	1	10	5	2	1	—
17 石油・石炭	3	1	2	—	—	—	—	—	—	—
18 プラスチック製品	61	16	18	6	6	11	4	—	—	—
19 ゴム製品	7	1	5	1	—	—	—	—	—	—
20 なめし革・同製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21 窯業・土石	16	3	6	5	1	1	—	—	—	—
22 鉄鋼業	13	2	1	3	5	1	1	—	—	—
23 非鉄金属	5	2	2	1	—	—	—	—	—	—
24 金属製品	77	35	24	6	6	4	1	1	—	—
25 はん用機械	43	19	11	6	4	2	—	—	—	1
26 生産用機械	115	44	33	22	7	4	5	—	—	—
27 業務用機械	9	2	1	—	2	1	3	—	—	—
28 電子部品・デバイス	9	1	3	—	—	5	—	—	—	—
29 電気機械	28	4	5	9	5	4	1	—	—	—
30 情報通信機械	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
31 輸送機械	35	7	13	3	2	4	1	1	1	3
32 その他	20	9	6	2	2	1	—	—	—	—

資料：富士市「平成 30 年工業統計調査結果」

※ 下線部は重化学工業

(4) 産業別の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の構成比

ア 事業所数（従業者４人以上の事業所）

産業中分類	静岡県				富士市				富士市の ウェイト B／A (%)
	H29 年	H30 年			H29 年	H30 年			
	事業 所数 (事業 所)	A 事業 所数 (事業 所)	構成比 (%)	前年比 (%)	事業 所数 (事業 所)	B 事業 所数 (事業 所)	構成比 (%)	前年比 (%)	
総数	9,138	8,988	100.0	△ 1.6	792	773	100.0	△ 2.4	8.6
軽工業計	4,477	4,383	48.8	△ 2.1	421	413	53.4	△ 1.9	9.4
重化学工業計	4,661	4,605	51.2	△ 1.2	371	360	46.6	△ 3.0	7.8
9 食料品	1,120	1,097	12.2	△ 2.1	41	42	5.4	2.4	3.8
10 飲料・たばこ・飼料	529	512	5.7	△ 3.2	16	15	1.9	△ 6.3	2.9
11 繊維工業	246	234	2.6	△ 4.9	17	17	2.2	0.0	7.3
12 木材・木製品	261	248	2.8	△ 5.0	13	14	1.8	7.7	5.6
13 家具・装備品	250	241	2.7	△ 3.6	4	5	0.6	25.0	2.1
14 パルプ・紙	469	466	5.2	△ 0.6	209	204	26.4	△ 2.4	43.8
15 印刷	284	276	3.1	△ 2.8	17	17	2.2	0.0	6.2
16 化学工業	186	184	2.0	△ 1.1	33	32	4.1	△ 3.0	17.4
17 石油・石炭	32	31	0.3	△ 3.1	3	3	0.4	0.0	9.7
18 プラスチック製品	661	659	7.3	△ 0.3	61	58	7.5	△ 4.9	8.8
19 ゴム製品	99	97	1.1	△ 2.0	7	6	0.8	△ 14.3	6.2
20 なめし革・同製品	15	12	0.1	△ 20.0	—	—	—	—	—
21 窯業・土石	215	213	2.4	△ 0.9	16	17	2.2	6.3	8.0
22 鉄鋼業	128	130	1.4	1.6	13	13	1.7	0.0	10.0
23 非鉄金属	107	105	1.2	△ 1.9	5	5	0.6	0.0	4.8
24 金属製品	1,042	1,047	11.6	0.5	77	74	9.6	△ 3.9	7.1
25 はん用機械	256	253	2.8	△ 1.2	43	44	5.7	2.3	17.4
26 生産用機械	1,021	1,009	11.2	△ 1.2	115	112	14.5	△ 2.6	11.1
27 業務用機械	127	127	1.4	0.0	9	9	1.2	0.0	7.1
28 電子部品・デバイス	143	135	1.5	△ 5.6	9	9	1.2	0.0	6.7
29 電気機械	545	543	6.0	△ 0.4	28	27	3.5	△ 3.6	5.0
30 情報通信機械	42	40	0.4	△ 4.8	1	1	0.1	0.0	2.5
31 輸送機械	1,032	1,001	11.1	△ 3.0	35	31	4.0	△ 11.4	3.1
32 その他	328	328	3.6	0.0	20	18	2.3	△ 10.0	5.5

資料：静岡県「2019 年工業統計調査（速報）」、富士市「2019 年工業統計調査結果速報」

※ 下線部は重化学工業

イ 従業者数（従業者４人以上の事業所）

産業中分類	静岡県				富士市				富士市の ウエイト B／A (%)
	H29 年	H30 年			H29 年	H30 年			
	従業者数 (人)	A 従業者数 (人)	構成比 (%)	前年比 (%)	従業者数 (人)	B 従業者数 (人)	構成比 (%)	前年比 (%)	
総数	405, 154	412, 996	100. 0	1. 9	36, 450	36, 430	100. 0	△ 0. 1	8. 8
軽工業計	146, 228	149, 561	36. 2	2. 3	17, 076	17, 105	47. 0	0. 2	11. 4
重化学工業計	258, 926	263, 435	63. 8	1. 7	19, 374	19, 325	53. 0	△ 0. 3	7. 3
9 食料品	46, 130	46, 685	11. 3	1. 2	4, 125	4, 136	11. 4	0. 3	8. 9
10 飲料・たばこ・飼料	11, 405	11, 582	2. 8	1. 6	540	536	1. 5	△ 0. 7	4. 6
11 繊維工業	5, 286	5, 365	1. 3	1. 5	196	197	0. 5	0. 5	3. 7
12 木材・木製品	4, 846	4, 453	1. 1	△ 8. 1	561	564	1. 5	0. 5	12. 7
13 家具・装備品	4, 447	4, 369	1. 1	△ 1. 8	25	33	0. 1	32. 0	0. 8
14 パルプ・紙	18, 612	18, 588	4. 5	△ 0. 1	8, 497	8, 543	23. 5	0. 5	46. 0
15 印刷	7, 841	7, 684	1. 9	△ 2. 0	241	244	0. 7	1. 2	3. 2
16 化学工業	23, 062	23, 039	5. 6	△ 0. 1	2, 920	2, 950	8. 1	1. 0	12. 8
17 石油・石炭	449	448	0. 1	△ 0. 2	34	34	0. 1	0. 0	7. 6
18 プラスチック製品	24, 787	27, 476	6. 7	10. 8	2, 148	2, 108	5. 8	△ 1. 9	7. 7
19 ゴム製品	7, 531	7, 865	1. 9	4. 4	96	72	0. 2	△ 25. 0	0. 9
20 なめし革・同製品	347	319	0. 1	△ 8. 1	—	—	—	—	—
21 窯業・土石	5, 243	5, 272	1. 3	0. 6	324	365	1. 0	12. 7	6. 9
22 鉄鋼業	3, 471	3, 656	0. 9	5. 3	553	597	1. 6	8. 0	16. 3
23 非鉄金属	7, 272	7, 231	1. 8	△ 0. 6	57	65	0. 2	14. 0	0. 9
24 金属製品	23, 628	24, 784	6. 0	4. 9	1, 892	1, 864	5. 1	△ 1. 5	7. 5
25 はん用機械	10, 946	11, 400	2. 8	4. 1	1, 959	2, 169	6. 0	10. 7	19. 0
26 生産用機械	30, 252	30, 816	7. 5	1. 9	2, 691	2, 658	7. 3	△ 1. 2	8. 6
27 業務用機械	9, 517	8, 585	2. 1	△ 9. 8	726	724	2. 0	△ 0. 3	8. 4
28 電子部品・デバイス	12, 068	12, 512	3. 0	3. 7	419	444	1. 2	6. 0	3. 5
29 電気機械	43, 774	47, 440	11. 5	8. 4	893	871	2. 4	△ 2. 5	1. 8
30 情報通信機械	5, 159	4, 190	1. 0	△ 18. 8	10	11	0. 0	10. 0	0. 3
31 輸送機械	89, 328	89, 334	21. 6	0. 0	7, 220	6, 938	19. 0	△ 3. 9	7. 8
32 その他	9, 753	9, 903	2. 4	1. 5	323	307	0. 8	△ 5. 0	3. 1

資料：静岡県「2019 年工業統計調査（速報）」及び富士市「2019 年工業統計調査結果速報」

※ 下線部は重化学工業

ウ 製造品出荷額等（従業者４人以上の事業所）

産業中分類	静岡県				富士市				富士市の ウエイト B／A (%)
	H29 年	H30 年			H29 年	H30 年			
	製造品 出荷額等 (百万円)	A 製造品 出荷額等 (百万円)	構成 比 (%)	前年 比 (%)	製造品 出荷額等 (百万円)	B 製造品 出荷額等 (百万円)	構成 比 (%)	前年 比 (%)	
総数	16,787,113	17,518,700	100.0	4.4	1,381,646	1,422,696	100.0	3.0	8.1
軽工業計	4,942,826	5,014,469	28.6	1.4	675,574	701,466	49.3	3.8	14.0
重化学工業計	11,844,287	12,504,231	71.4	5.6	706,072	721,231	50.7	2.1	5.8
9 食料品	1,371,182	1,389,659	7.9	1.3	94,935	103,533	7.3	9.1	7.5
10 飲料・たばこ・飼料	918,228	905,386	5.2	△ 1.4	32,025	31,072	2.2	△ 3.0	3.4
11 繊維工業	111,614	118,168	0.7	5.9	1,615	1,629	0.1	0.9	1.4
12 木材・木製品	214,573	203,442	1.2	△ 5.2	23,510	29,410	2.1	25.1	14.5
13 家具・装備品	91,096	96,673	0.6	6.1	250	318	0.0	27.3	0.3
14 パルプ・紙	833,317	852,275	4.9	2.3	452,274	464,833	32.7	2.8	54.5
15 印刷	154,728	149,172	0.9	△ 3.6	5,985	6,337	0.4	5.9	4.2
16 化学工業	1,824,904	1,895,440	10.8	3.9	220,626	231,814	16.3	5.1	12.2
17 石油・石炭	24,867	26,734	0.2	7.5	X	X	X	X	X
18 プラスチック製品	656,149	731,477	4.2	11.5	50,041	49,141	3.5	△ 1.8	6.7
19 ゴム製品	184,985	195,792	1.1	5.8	1,313	813	0.1	△ 38.1	0.4
20 なめし革・同製品	6,378	6,884	0.0	7.9	—	—	—	—	—
21 窯業・土石	169,913	154,415	0.9	△ 9.1	8,138	9,204	0.6	13.1	6.0
22 鉄鋼業	222,889	233,814	1.3	4.9	39,392	40,749	2.9	3.4	17.4
23 非鉄金属	528,986	605,456	3.5	14.5	1,569	1,621	0.1	3.3	0.3
24 金属製品	540,666	591,138	3.4	9.3	36,256	37,121	2.6	2.4	6.3
25 はん用機械	323,679	329,367	1.9	1.8	54,031	55,147	3.9	2.1	16.7
26 生産用機械	877,901	944,732	5.4	7.6	62,400	59,571	4.2	△ 4.5	6.3
27 業務用機械	261,313	271,252	1.5	3.8	6,947	7,452	0.5	7.3	2.7
28 電子部品・デバイス	304,223	325,587	1.9	7.0	5,188	5,265	0.4	1.5	1.6
29 電気機械	2,205,117	2,458,494	14.0	11.5	13,225	15,194	1.1	14.9	0.6
30 情報通信機械	411,367	339,845	1.9	△ 17.4	X	X	X	X	X
31 輸送機械	4,318,375	4,482,372	25.6	3.8	263,544	264,922	18.6	0.5	5.9
32 その他	230,663	211,125	1.2	△ 8.5	5,489	5,176	0.4	△ 5.7	2.5
秘 匿	—	—	—	—	2,895	2,375	0.2	—	—

資料：静岡県「2019 年工業統計調査（速報）」及び富士市「2019 年工業統計調査結果速報」

※ 下線部は重化学工業

※ 「—」は該当の数値なし、「X」は秘匿箇所

(5) 製造品出荷額等及び上位構成産業の推移（従業者４人以上の事業所）

年	製造品出荷額等 (万円)	第１位 (%)	第２位 (%)	第３位 (%)	第４位 (%)	第５位 (%)
H16	131,522,036 (83.2)	パルプ・紙 (35.9)	化学工業 (18.2)	輸送機械 (13.7)	電気機械 (9.4)	一般機械 (6.0)
H17	130,197,279 (82.4)	パルプ・紙 (35.4)	輸送機械 (16.0)	化学工業 (14.6)	電気機械 (9.2)	一般機械 (7.2)
H18	137,681,966 (83.3)	パルプ・紙 (34.2)	輸送機械 (16.9)	化学工業 (15.2)	電気機械 (9.2)	一般機械 (7.8)
H19	144,877,976 (82.2)	パルプ・紙 (33.9)	輸送機械 (16.8)	化学工業 (16.1)	電気機械 (8.2)	一般機械 (7.2)
H20	158,393,407 (78.8)	パルプ・紙 (33.1)	化学工業 (16.2)	輸送機械 (14.4)	電気機械 (8.3)	生産用機械 (6.8)
H21	135,132,893 (79.4)	パルプ・紙 (33.7)	化学工業 (17.1)	輸送機械 (16.7)	電気機械 (7.2)	食料品 (4.7)
H22	142,486,260 (81.0)	パルプ・紙 (31.5)	輸送機械 (21.8)	化学工業 (17.9)	電気機械 (5.9)	食料品 (3.9)
H23	135,638,317 (81.1)	パルプ・紙 (32.5)	輸送機械 (21.1)	化学工業 (19.3)	食料品 (4.5)	生産用機械 (3.7)
H24	130,245,423 (83.1)	パルプ・紙 (30.2)	輸送機械 (25.9)	化学工業 (18.3)	食料品 (4.7)	生産用機械 (4.0)
H25	127,908,680 (82.5)	パルプ・紙 (29.4)	輸送機械 (25.5)	化学工業 (18.7)	食料品 (4.7)	生産用機械 (4.2)
H26	136,768,137 (79.7)	パルプ・紙 (28.1)	輸送機械 (21.6)	化学工業 (16.2)	電気機械 (8.7)	食料品 (5.1)
H27	144,516,084 (79.0)	パルプ・紙 (29.8)	輸送機械 (19.2)	化学工業 (15.3)	はん用機械 (8.4)	食料品 (6.3)
H28	135,711,372 (78.6)	パルプ・紙 (32.6)	輸送機械 (18.3)	化学工業 (15.4)	食料品 (7.4)	はん用機械 (4.9)
H29	138,164,569 (79.2)	パルプ・紙 (32.7)	輸送機械 (19.1)	化学工業 (16.0)	食料品 (6.9)	生産用機械 (4.5)
H30	142,269,638 (79.1)	パルプ・紙 (32.7)	輸送機械 (18.6)	化学工業 (16.3)	食料品 (7.3)	生産用機械 (4.2)

資料：平成 30 年は富士市「2019 年工業統計調査結果速報」

※ 「製造品出荷額等」欄の下段数値は、第５位までの産業が占める割合

※ 平成 19 年以前の数値に旧富士川町分は含まない。

## 2 県内における富士市の工業の位置

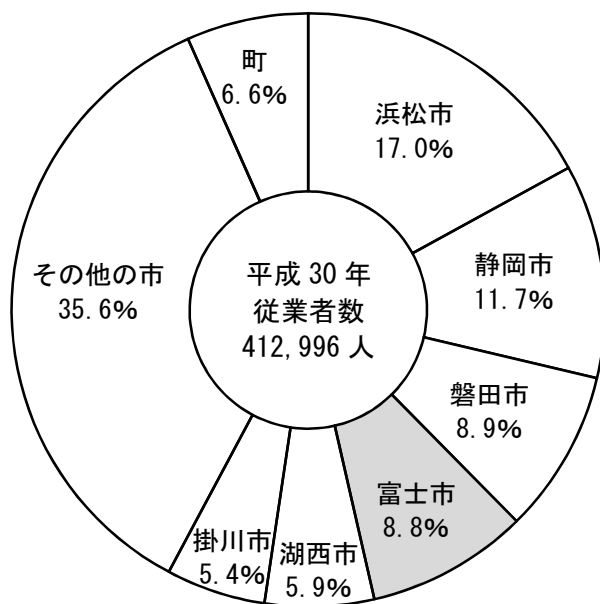
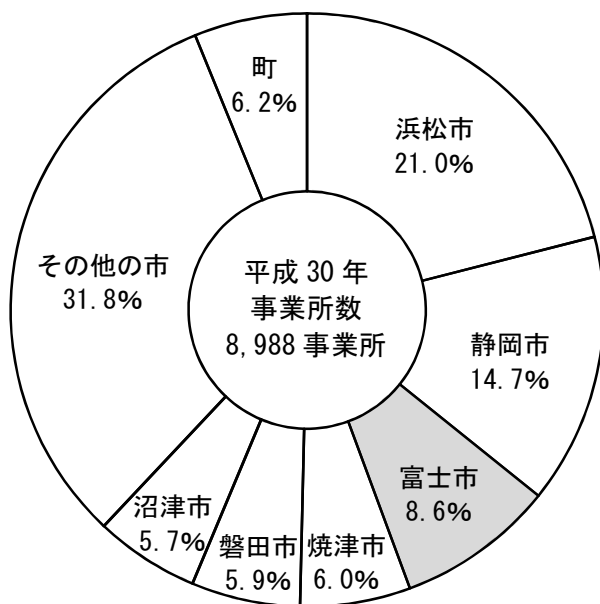
### (1) 事業所数・従業者数・製造品出荷額等のシェアの推移

#### ア 事業所数・従業者数（従業者4人以上の事業所）

年	事業所数（事業所）						従業者数（人）					
	静岡県 A	前年比 (%)	富士市 B	前年比 (%)	県内 順位	シェア B/A (%)	静岡県 A	前年比 (%)	富士市 B	前年比 (%)	県内 順位	シェア B/A (%)
H16	12,947	△ 7.0	1,024	△ 6.8	3	7.9	433,061	△ 0.2	35,961	△ 5.4	3	8.3
H17	13,228	2.2	1,045	2.1	3	7.9	441,562	2.0	35,606	△ 1.0	4	8.1
H18	12,525	△ 5.3	1,003	△ 4.0	3	8.0	446,948	1.2	36,110	1.4	4	8.1
H19	12,427	△ 0.8	1,005	0.2	3	8.1	457,695	2.4	36,533	1.2	4	8.0
H20	12,535	0.9	1,053	4.8	3	8.4	446,577	△ 2.4	37,278	2.0	4	8.3
H21	11,266	△ 10.1	957	△ 9.1	3	8.5	411,551	△ 7.8	35,038	△ 6.0	4	8.5
H22	10,768	△ 4.4	934	△ 2.4	3	8.7	409,030	△ 0.6	34,216	△ 2.3	4	8.4
H23	11,194	4.0	901	△ 3.5	3	8.0	396,465	△ 3.1	32,666	△ 4.5	4	8.2
H24	10,431	△ 6.8	872	△ 3.2	3	8.4	393,687	△ 0.7	31,803	△ 2.6	4	8.1
H25	10,037	△ 3.8	860	△ 1.4	3	8.6	388,877	△ 1.2	31,822	0.1	4	8.2
H26	9,777	△ 2.6	833	△ 3.1	3	8.5	386,924	△ 0.5	32,742	2.9	4	8.5
H27	10,492	7.3	896	7.6	3	8.5	396,406	2.5	34,514	5.4	4	8.7
H28	9,299	△ 11.4	799	△ 10.8	3	8.6	398,450	0.5	35,985	4.3	3	9.0
H29	9,138	△ 1.7	792	△ 0.9	3	8.7	405,154	1.7	36,450	1.3	3	9.0
H30	8,988	△ 1.6	773	△ 2.4	3	8.6	412,996	1.9	36,430	△ 0.1	4	8.8

資料：平成30年は静岡県「2019年工業統計調査（速報）」

※ 平成19年以前の数値に旧富士川町分は含まない。

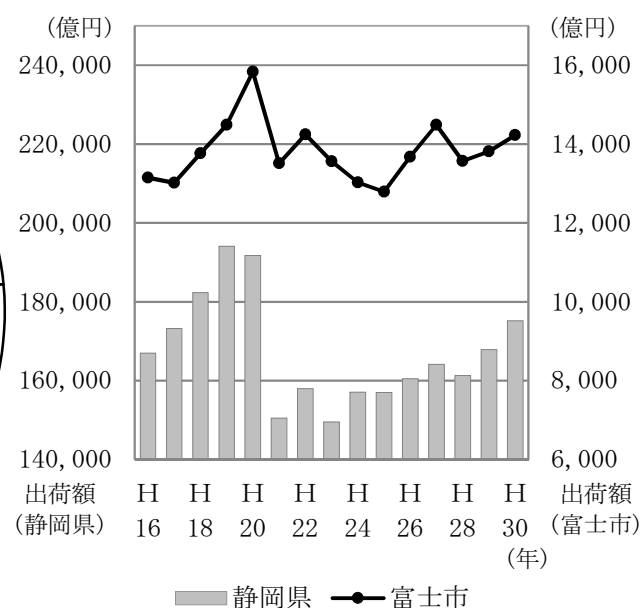
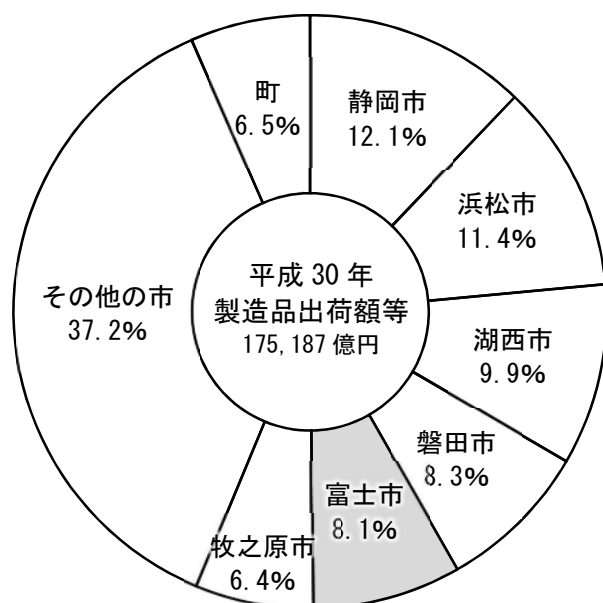


イ 製造品出荷額等（従業者 4 人以上の事業所）

年	製造品出荷額等（百万円）						
	静岡県 A	前年比 (%)	都道府県 順位	富士市 B	前年比 (%)	県内順位	シェア B/A (%)
H16	16,699,764	4.6	3	1,315,220	4.6	3	7.9
H17	17,322,744	3.7	3	1,301,973	△ 1.0	6	7.5
H18	18,234,667	5.3	3	1,376,820	5.7	6	7.6
H19	19,410,264	6.4	3	1,448,780	5.2	6	7.5
H20	19,177,718	△ 1.2	3	1,583,934	9.3	6	8.3
H21	15,050,953	△ 21.5	2	1,351,329	△ 14.7	5	9.0
H22	15,793,109	4.9	3	1,424,863	5.4	5	9.0
H23	14,949,739	△ 5.3	4	1,356,383	△ 4.8	5	9.1
H24	15,707,724	5.1	4	1,302,454	△ 4.0	5	8.3
H25	15,699,131	△ 0.1	4	1,279,087	△ 1.8	5	8.1
H26	16,050,724	2.2	4	1,367,681	6.9	5	8.5
H27	16,412,474	2.3	4	1,448,538	5.9	5	8.8
H28	16,132,179	△ 1.7	3	1,357,114	△ 6.3	5	8.4
H29	16,787,113	4.1	4	1,381,646	1.8	5	8.2
H30	17,518,700	4.4	4	1,422,696	3.0	5	8.1

資料：平成 30 年は静岡県「2019 年工業統計調査（速報）」

※ 平成 19 年以前の数値に旧富士川町分は含まない。





## (2) 県内市別の事業所数・従業者数・製造品出荷額等

## ア 全事業所

市別	事業所数（事業所）				従業者数（人）			
	H28 年	H29 年	構成比 （%）	前年比 （%）	H28 年	H29 年	構成比 （%）	前年比 （%）
総 数	16,538	16,139	100.0	△ 2.4	412,681	418,874	100.0	1.5
静 岡 市	2,797	2,714	16.8	△ 3.0	49,084	49,725	11.9	1.3
浜 松 市	3,639	3,527	21.9	△ 3.1	71,674	73,408	17.5	2.4
沼 津 市	935	924	5.7	△ 1.2	19,193	19,658	4.7	2.4
熱 海 市	61	61	0.4	0.0	307	309	0.1	0.7
三 島 市	305	294	1.8	△ 3.6	7,191	7,283	1.7	1.3
富 士 宮 市	557	552	3.4	△ 0.9	19,667	20,216	4.8	2.8
伊 東 市	129	127	0.8	△ 1.6	859	818	0.2	△ 4.8
島 田 市	570	569	3.5	△ 0.2	11,405	11,534	2.8	1.1
富 士 市	1,218	1,205	7.5	△ 1.1	36,846	37,287	8.9	1.2
磐 田 市	928	893	5.5	△ 3.8	36,153	36,785	8.8	1.7
焼 津 市	854	828	5.1	△ 3.0	16,670	16,641	4.0	△ 0.2
掛 川 市	565	561	3.5	△ 0.7	21,384	21,956	5.2	2.7
藤 枝 市	601	594	3.7	△ 1.2	12,355	13,110	3.1	6.1
御 殿 場 市	212	199	1.2	△ 6.1	8,306	8,175	2.0	△ 1.6
袋 井 市	369	353	2.2	△ 4.3	13,774	13,973	3.3	1.4
下 田 市	41	41	0.3	0.0	272	267	0.1	△ 1.8
裾 野 市	169	166	1.0	△ 1.8	7,200	7,407	1.8	2.9
湖 西 市	340	336	2.1	△ 1.2	22,757	22,689	5.4	△ 0.3
伊 豆 市	132	130	0.8	△ 1.5	1,274	1,223	0.3	△ 4.0
御 前 崎 市	181	175	1.1	△ 3.3	4,218	3,837	0.9	△ 9.0
菊 川 市	272	272	1.7	0.0	8,173	8,485	2.0	3.8
伊豆の国市	178	172	1.1	△ 3.4	3,806	3,660	0.9	△ 3.8
牧之原市	415	418	2.6	0.7	11,450	12,252	2.9	7.0
郡（町）計	1,070	1,028	6.4	△ 3.9	28,663	28,176	6.7	△ 1.7

資料：静岡県「平成 30 年工業統計調査報告書」

イ 従業者４人以上の事業所

市別	事業所数（事業所）				従業者数（人）				製造品出荷額等（百万円）			
	H29年	H30年	構成比（%）	前年比（%）	H29年	H30年	構成比（%）	前年比（%）	H29年	H30年	構成比（%）	前年比（%）
総 数	9,138	8,988	100.0	△ 1.6	405,154	412,996	100.0	1.9	16,787,113	17,518,700	100.0	4.4
静岡市	1,360	1,325	14.7	△ 2.6	47,129	48,131	11.7	2.1	1,979,079	2,121,821	12.1	7.2
浜松市	1,918	1,890	21.0	△ 1.5	70,213	70,380	17.0	0.2	1,950,092	1,997,621	11.4	2.4
沼津市	523	512	5.7	△ 2.1	18,858	19,490	4.7	3.4	599,564	640,495	3.7	6.8
熱海市	20	19	0.2	△ 5.0	224	194	0.0	△ 13.4	3,366	2,983	0.0	△ 11.4
三島市	167	160	1.8	△ 4.2	7,026	7,025	1.7	△ 0.0	192,264	190,723	1.1	△ 0.8
富士宮市	336	339	3.8	0.9	19,801	20,130	4.9	1.7	939,155	973,094	5.6	3.6
伊東市	47	45	0.5	△ 4.3	650	629	0.2	△ 3.2	10,085	9,159	0.1	△ 9.2
島田市	318	314	3.5	△ 1.3	11,059	11,313	2.7	2.3	346,728	360,147	2.1	3.9
富士市	792	773	8.6	△ 2.4	36,450	36,430	8.8	△ 0.1	1,381,646	1,422,696	8.1	3.0
磐田市	532	533	5.9	0.2	36,074	36,793	8.9	2.0	1,510,142	1,458,676	8.3	△ 3.4
焼津市	544	541	6.0	△ 0.6	16,073	16,637	4.0	3.5	631,453	625,253	3.6	△ 1.0
掛川市	345	340	3.8	△ 1.4	21,557	22,373	5.4	3.8	1,095,842	1,114,714	6.4	1.7
藤枝市	345	342	3.8	△ 0.9	12,609	12,769	3.1	1.3	469,683	506,001	2.9	7.7
御殿場市	144	138	1.5	△ 4.2	8,080	7,994	1.9	△ 1.1	430,966	484,527	2.8	12.4
袋井市	225	222	2.5	△ 1.3	13,708	13,740	3.3	0.2	587,997	643,726	3.7	9.5
下田市	9	9	0.1	0.0	211	224	0.1	6.2	3,492	3,661	0.0	4.8
裾野市	105	107	1.2	1.9	7,279	7,072	1.7	△ 2.8	369,700	382,274	2.2	3.4
湖西市	199	195	2.2	△ 2.0	22,395	24,571	5.9	9.7	1,525,807	1,732,725	9.9	13.6
伊豆市	62	59	0.7	△ 4.8	1,092	1,098	0.3	0.5	17,446	18,240	0.1	4.5
御前崎市	110	105	1.2	△ 4.5	3,711	3,938	1.0	6.1	127,430	131,889	0.8	3.5
菊川市	174	174	1.9	0.0	8,290	8,817	2.1	6.4	271,845	283,500	1.6	4.3
伊豆の国市	91	94	1.0	3.3	3,511	3,799	0.9	8.2	131,916	148,261	0.8	12.4
牧之原市	204	198	2.2	△ 2.9	11,843	12,002	2.9	1.3	1,076,388	1,120,123	6.4	4.1
郡(町)計	568	554	6.2	△ 2.5	27,311	27,447	6.6	0.5	1,135,026	1,146,391	6.5	1.0

資料：静岡県「2019年工業統計調査（速報）」

## (3) 静岡県内上位5市の製造品出荷額等の推移(従業者4人以上の事業所)

単位: 百万円、(%)

年	静岡県	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
H16	16,699,764 (43.5)	浜松市 1,994,948 (11.9)	静岡市 1,406,458 (8.4)	富士市 1,315,220 (7.9)	湖西市 1,295,522 (7.8)	磐田市 1,252,218 (7.5)	—
H17	17,457,827 (53.2)	浜松市 2,778,024 (15.9)	磐田市 2,074,254 (11.9)	静岡市 1,642,364 (9.4)	掛川市 1,456,197 (8.3)	湖西市 1,332,093 (7.6)	富士市 1,308,247 (7.5)
H18	18,234,667 (54.2)	浜松市 2,849,996 (15.6)	磐田市 2,479,215 (13.6)	静岡市 1,644,305 (9.0)	湖西市 1,464,278 (8.0)	掛川市 1,450,219 (8.0)	富士市 1,376,819 (7.6)
H19	19,410,264 (54.9)	浜松市 3,225,665 (16.6)	磐田市 2,468,155 (12.7)	静岡市 1,759,508 (9.1)	湖西市 1,668,538 (8.6)	掛川市 1,525,721 (7.9)	富士市 1,448,780 (7.5)
H20	19,302,258 (54.3)	浜松市 2,892,035 (15.0)	磐田市 2,346,812 (12.2)	静岡市 1,862,974 (9.7)	湖西市 1,762,169 (9.1)	掛川市 1,618,617 (8.4)	富士市 1,583,934 (8.2)
H21	15,050,953 (53.3)	浜松市 2,098,101 (13.9)	磐田市 1,621,186 (10.8)	静岡市 1,542,664 (10.2)	湖西市 1,407,746 (9.4)	富士市 1,351,329 (9.0)	掛川市 1,248,141 (8.3)
H22	15,793,109 (54.0)	浜松市 2,014,577 (12.8)	磐田市 1,748,484 (11.1)	静岡市 1,697,201 (10.7)	湖西市 1,650,322 (10.4)	富士市 1,424,863 (9.0)	掛川市 1,180,123 (7.5)
H23	14,949,739 (54.0)	浜松市 1,970,088 (13.2)	磐田市 1,635,818 (10.9)	静岡市 1,561,142 (10.4)	湖西市 1,542,770 (10.3)	富士市 1,356,383 (9.1)	掛川市 1,051,993 (7.0)
H24	15,707,724 (54.1)	浜松市 2,085,286 (13.3)	磐田市 1,721,568 (11.0)	静岡市 1,711,073 (10.9)	湖西市 1,683,802 (10.7)	富士市 1,302,454 (8.3)	掛川市 1,069,353 (6.8)
H25	15,699,130 (54.5)	浜松市 2,130,271 (13.6)	静岡市 1,751,664 (11.2)	磐田市 1,721,102 (11.0)	湖西市 1,671,605 (10.6)	富士市 1,279,087 (8.1)	掛川市 1,046,428 (6.7)
H26	16,050,724 (54.0)	浜松市 2,005,774 (12.5)	磐田市 1,786,971 (11.1)	静岡市 1,758,416 (11.0)	湖西市 1,750,419 (10.9)	富士市 1,367,681 (8.5)	掛川市 1,067,364 (6.6)
H27	16,412,474 (51.0)	浜松市 1,823,450 (11.1)	静岡市 1,733,115 (10.6)	磐田市 1,731,683 (10.6)	湖西市 1,631,556 (9.9)	富士市 1,448,538 (8.8)	掛川市 1,058,298 (6.4)
H28	16,132,178 (50.3)	静岡市 1,830,915 (11.3)	浜松市 1,803,602 (11.2)	磐田市 1,567,485 (9.7)	湖西市 1,555,980 (9.6)	富士市 1,357,114 (8.4)	掛川市 1,020,037 (6.3)
H29	16,787,113 (49.7)	静岡市 1,979,079 (11.8)	浜松市 1,950,092 (11.6)	湖西市 1,525,807 (9.1)	磐田市 1,510,142 (9.0)	富士市 1,381,646 (8.2)	掛川市 1,095,842 (6.5)
H30	17,518,700 (49.9)	静岡市 2,121,821 (12.1)	浜松市 1,997,621 (11.4)	湖西市 1,732,725 (9.9)	磐田市 1,458,676 (8.3)	富士市 1,422,696 (8.1)	牧之原市 1,120,123 (6.4)

資料: 平成30年は静岡県「2019年工業統計調査(速報)」

※ 平成19年以前は、富士市分に旧富士川町分を計上していない

※ 平成17年、20年は、全事業所の数値

※ 「静岡県」欄のカッコ内は上位5市の占める割合

## Ⅱ 富士市の地場産業（パルプ・紙産業）の概要

### 1 富士市域の製紙のあけぼの

富士山南西麓から富士川上流にかけての地域では山村部の生業の一つとして紙すきが行なわれ、江戸時代中頃には江戸に広く流通するようになり、「駿河半紙」としてブランド化し隆盛した。駿河半紙は三桮（みつまた）を原料としたしなやかな紙質で人気を博し、現在の富士宮市域を中心に盛んに生産され多大な利益をあげていたが、富士市域においては主流産業にならなかった。

明治時代になると江戸時代の宿駅制度が廃止され、宿場に従事する馬子（まご）等の大量失業が懸念された。これに備えて吉原宿出身の内田平四郎は、明治2年（1869年）に愛鷹山西麓の内山地区を開墾して三桮の栽培を手掛けた。これには、明治政府の殖産興業政策の中に製紙が含まれていたことが影響したと考えられる。

明治12年（1879年）、伝法村の栢森貞助（かやもりていすけ）らは手すき和紙工場「鈎玄社（こうげんしゃ）」を設立し、製造過程で苛性ソーダなど化学薬品を使用した紙を製造した。それまでの和紙の製造が家内生産だったのに対して工場生産の考え方を導入した点や、化学薬品など洋紙技術を採用入れた点は、富士地区の工場経営の先駆けとなった。

明治20年（1887年）、芦川万次郎は、今泉の湧水地帯（通称ガマ）に手すき和紙工場を設立した。生産技術の改良によって経営が軌道に乗り、これを契機に明治20～30年代にかけて今泉ガマを中心に相次いで手すき和紙工場が設立され、富士市の製紙産業の基盤となった。

### 2 日本の製紙業の興りと富士市域における発展

明治初期、政府の海外視察団が帰国すると産業の近代化が進み、明治5年（1872年）に東京の日本橋に有恒社が、明治6年（1873年）に東京の王子に抄紙会社（後の王子製紙）が設立され、日本における洋紙生産が開始された。当初は手探りで操業が続いたが、洋紙生産技術が浸透して、明治20年代になると経営が安定し、さらなる発展を遂げるため全国各地へと工場が進出した。静岡県内においては明治22年（1889年）に製紙会社（抄紙会社が改組）が周智郡気多村（現浜松市天竜区）でパルプ設備を稼動した。

富士地区は生産用水と工場の動力源としての豊富な水資源が注目され、明治23年（1890年）に東京の富士製紙会社が潤井川流域の入山瀬に工場を建設し、富士市域で初めて洋紙の製造を行った。翌年には日本で初めて自社製の碎木パルプ（GP）の生産に成功し、安価で良質な更紙（ざらし）を抄造した。

そのようななか、富士製紙の技術者である三木慎一は辞職して、明治27年（1894年）に原田村に小工場を建てて独自に洋紙の製造を始めた。三木の挑戦は、それまでのように大資本でなくても製紙工場設立が可能であることを在地の小資本家や技術者たちに示し、後の製紙工場林立の礎となった。

洋紙生産工場の富士地区進出は、在来の和紙生産工場にも大きな影響を与えた。それまで手すきだった和紙の生産は、洋紙生産に倣って機械化に取り組み、生産性の向上が図られた。特に明治27年（1894年）、原田の滝川流域に設立された原田製紙株式会社は、ボロと古網にネリを加えた特異なナブキン原紙を抄造し、機械の開発導入を進めて大量生産を可能とした。吉原の佐野熊次郎が原田製紙のナブキン原紙を使用して加工業を始めると人気を集め、原田製紙と佐野が協力して加工ナブキンの生産体制を整え、海外へ輸出するまでに至った。明治43年（1910年）には、イギリスで開催された日英ロンドン博覧会で銀賞を受賞し、その技術は世界に通用する程となった。

機械すき和紙生産の草分け的存在となった原田製紙からは多くの有能な技術者が輩出され、岳南地区の製紙業界に送り出された。大正時代になると手すき和紙工場は激減し、機械すきの製紙工場が続々と誕生したが、こうした技術者たちがその原動力となった。

大正3年（1914年）の第一次世界大戦参戦によりヨーロッパなどからの紙・パルプの輸入が途絶えた結果、国内の製紙業界は好景気となり、富士地区では地元の中小資本の製紙会社が多数創業した。しかし、好況の反動により大正9年（1920年）には経済が一気に冷え込み、工場を閉鎖したり倒産したりする会社が続出した。一方で、各社間の競争によって抄紙機の改良などの技術革新が図られ、不況下でも操業を続けられる会社も少なくなかった。

その後も関東大震災等で大正後期から昭和初期にかけて景気は悪化し社会が混乱したが、民衆は社会の混乱の安息を雑誌などに求め、1冊1円の安価な全集ものが好評を博した『円本（えんぽん）』ブー

ム』とも相まって出版を通じて紙がよく売れるようになったため、昭和初期には製紙工場がいくつも設立されるなど、製紙業界は不況の影響を比較的受けなかった。

このころまでに創業した数多くの製紙会社が、今日の「紙のまち」としての富士市を形成する土台となったといえる。

### 3 戦後の製紙業

昭和 16 年（1941 年）に太平洋戦争が始まると、製紙は戦争には不要な産業と見なされて、比較的大きな工場は軍需工場に変えられた。また、中小の工場は休業させられたり、他の工場に統合されたため、製紙産業は停滞した。

終戦を迎えると各産業の復興が始まったが、戦時の軍需工場化や抄紙機の供出の影響により、工場の復元作業からの立て直しとなった。全国的には戦火による工場の被害から復元に困難を要する企業が多かったが、富士市域の工場の多くは被害を免れたため、製紙産業の復興は早かった。

戦後すぐに出版ブームが起こり紙の需要が高まったが、原料のパルプが不足していたため、出版業界は供給を間に合わせるために、出版用としては紙質の落ちる仙貨紙（せんかし）を大量に用いた。それまで片面仙貨紙のみであったが、昭和 23 年（1948 年）には両面仙貨紙が開発され人気を博した。その後しばらく景気の浮き沈みに各社は左右されながらも、昭和 30 年代を過ぎると全体的に安定した経営が保たれるようになった。富士地域は、生産量においても、また、板紙生産に新聞古紙を利用する再生紙生産に日本で最初に取り組むなど、製紙技術においても製紙産業の一大拠点となった。

その一方で、環境汚染が深刻化し、昭和 40 年代の田子の浦港のヘドロは大きな社会問題となった。行政機関の協力と業界の自主努力により昭和 50 年代には一応の解決をみたが、その後の製紙業界の環境に対する取組に大きな影響を与えた。

### 4 近況

昭和 48 年、54 年の 2 度にわたるオイルショック、昭和 54 年の木材チップの高騰等、供給面における制約や、国内経済の成長率の鈍化、樹脂等他素材による代替等、需要面における制約があったものの、紙需要は拡大基調で推移した。

しかし、いわゆるバブル経済の崩壊後の景気後退、人口減少や OA 化の進展による紙需要の減少、生産拠点の海外移転などによって、平成 29 年（2017 年）の富士市における紙・パルプの製造品出荷額は 4,522 億 7,433 万円とピーク時の平成 3 年（1991 年）（6,035 億 1,444 万円。旧富士川町を含まない。）から大幅に減少している。

日本の製紙業は、世界トップクラスの高度な古紙再生技術やばい煙、水質汚濁対応などの高い環境技術を持つ一方で、高い製造コストや生産設備の老朽化などの課題を抱えていると言われている。また、典型的な内需型産業であった製紙業であるが、国内市場の縮小を見越した海外市場の開拓のために、新たに海外に生産拠点を設ける企業が増えつつある。富士市においても、大手のみならず中堅製紙メーカーの海外展開の動きが注目されている。

## 5 地場産業（パルプ・紙産業）の年次別推移（従業者4人以上の事業所）

	静岡県			富士市		
	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
H18	584	22,189	90,686,165	255	9,820	47,129,841
H19	576	21,195	93,711,542	249	9,436	49,100,677
H20	564	20,153	93,846,177	249	9,557	52,351,782
H21	540	19,024	82,331,468	245	9,319	45,580,418
H22	537	18,647	81,892,972	245	8,966	44,876,348
H23	536	18,518	82,297,974	224	8,705	44,072,640
H24	510	17,697	76,894,375	226	8,188	39,318,554
H25	506	17,449	73,230,568	227	8,250	37,632,117
H26	491	17,762	76,424,718	220	8,106	38,481,984
H27	496	18,215	81,774,356	217	8,467	43,129,341
H28	467	18,266	81,718,565	208	8,521	44,295,044
H29	469	18,612	83,331,713	209	8,497	45,227,433

※平成19年以前の数値に旧富士川町分は含まない。

※平成21年の数値は日本標準産業中分類改訂による変更後の数値

※各年版 工業統計調査結果（静岡県、富士市）、平成24・28年 経済センサス活動調査結果を基に作成

## 6 平成29年地場産業（パルプ・紙産業）の内訳（従業者4人以上の事業所）

	静岡県			富士市		
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
14 パルプ・紙・紙加工品	469	18,612	83,331,713	209	8,497	45,227,433
1411 パルプ	3	203	32,186	1	24	X
1421 洋紙・機械すき和紙	44	3,216	15,927,145	36	2,127	10,905,573
1422 板紙	12	1,715	18,351,221	9	1,249	13,478,346
1431 塗工紙	25	1,424	6,209,090	11	438	1,577,894
1432 段ボール	3	48	X	1	4	X
1433 壁紙・ふすま紙	2	15	X	—	—	—
1441 事務用・学用紙製品	9	400	X	4	134	330,978
1442 日用紙製品	1	4	X	—	—	—
1449 その他の紙製品	11	206	335,669	5	90	114,955
1451 重包装紙袋	4	43	73,611	—	—	—
1452 角底紙袋	6	119	233,447	2	47	X
1453 段ボール箱	108	2,718	7,599,619	9	155	452,907
1454 紙器	58	2,075	6,003,630	12	327	1,108,116
1499 その他のパルプ・ 紙・紙加工品	183	6,426	26,533,838	119	3,902	17,105,361
秘匿欄	—	—	2,032,257	—	—	153,303

資料：静岡県「平成30年工業統計調査報告書」、富士市「平成30年工業統計調査結果」

※「—」は該当の数値なし、「X」は秘匿箇所

## 7 富士市の地場産業（パルプ・紙産業）の位置

### (1) 事業所数

49 社 57 工場 （令和元年 12 月現在）

### (2) 令和元年品種別生産量及び構成比

分類	品種名	全国（トン）	富士市（トン）	全国比率
製紙パルプ	クラフトパルプ	7,840,332	100,906	1.3%
	さらし	6,873,641	0	0.0%
	未ざらし	966,691	100,906	10.4%
	サーモメカニカルパルプTMP	297,437	0	0.0%
	リファイナードグラウンドパルプRG P	130,440	0	0.0%
	碎木パルプG P	85,696	0	0.0%
	その他製紙パルプ	20,064	0	0.0%
	合計	8,373,969	100,906	1.2%

分類	品種名	全国（トン）	富士市（トン）	全国比率
紙	新聞巻取紙	2,422,120	0	0.0%
	印刷・情報用紙	7,511,760	245,644	3.3%
	非塗工印刷用紙	1,690,777	140,833	8.3%
	上級印刷紙	1,084,919	23,579	2.2%
	中級印刷紙	232,224	11,693	5.0%
	下級印刷紙	349,827	85,564	24.5%
	薄葉印刷紙	23,807	19,997	84.0%
	微塗工印刷用紙	1,025,288	13,181	1.3%
	塗工印刷用紙	3,171,996	2,466	0.1%
	アート紙	42,631	1,690	4.0%
	コート紙	1,802,512	0	0.0%
	軽量コート紙	1,143,890	0	0.0%
	その他塗工印刷紙	182,963	776	0.4%
	特殊印刷用紙	210,251	52,594	25.0%
	色上質紙	70,660	36,044	51.0%
	その他特殊印刷用紙	139,591	16,550	11.9%
	情報用紙	1,413,448	36,570	2.6%
	複写原紙	156,704	5,267	3.4%
	フォーム用紙	235,265	5,162	2.2%
	P P C用紙	836,104	23,490	2.8%
	情報記録紙	150,230	2,629	1.7%
	その他情報用紙	35,145	22	0.1%
	包装用紙	899,323	66,646	7.4%
	未ざらし包装紙	597,763	50,402	8.4%
	重袋用両更クラフト紙	353,394	32,425	9.2%
	その他両更クラフト紙	228,888	15,228	6.7%
	その他未ざらし包装紙	15,481	2,749	17.8%
	さらし包装紙	301,560	16,244	5.4%
	純白ロール紙	63,450	0	0.0%
	さらしクラフト紙	215,508	10,746	5.0%
	その他さらし包装紙	22,602	5,498	24.3%

分類	品種名	全国（トン）	富士市（トン）	全国比率
紙	衛生用紙	1,831,023	525,552	28.7%
	ティッシュペーパー	439,282	73,442	16.7%
	トイレットペーパー	1,092,551	358,283	32.8%
	タオル用紙	211,328	48,458	22.9%
	その他衛生用紙（生理用紙含む）	87,862	45,369	51.6%
	雑種紙	838,049	121,236	14.5%
	工業用雑種紙	794,164	118,605	14.9%
	加工原紙	667,118	94,328	14.1%
	電気絶縁紙	15,580	0	0.0%
	その他工業用雑種紙	111,466	24,277	21.8%
	家庭用雑種紙	43,885	2,631	6.0%
	合計	13,502,275	959,078	7.1%
板紙	段ボール原紙	9,658,198	973,991	10.1%
	ライナー	5,872,676	505,494	8.6%
	外装用（クラフト）	4,181,677	341,973	8.2%
	外装用（ジュート）	1,584,763	163,521	10.3%
	内装用	106,236	0	0.0%
	中芯原紙	3,785,522	468,497	12.4%
	紙器用板紙	1,598,923	475,882	29.8%
	白板紙	1,460,983	470,625	32.2%
	マニラボール	576,362	181,351	31.5%
	白ボール	884,621	289,274	32.7%
	黄・チップ・色板紙	137,940	5,257	3.8%
	雑板紙	642,011	50,754	7.9%
	建材原紙	204,894	0	0.0%
	紙管原紙	298,913	0	0.0%
	その他板紙	138,204	50,754	36.7%
	合計	11,899,132	1,500,627	12.6%

品種名	全国（トン）	富士市（トン）	全国比率
紙・板紙合計	25,401,407	2,459,705	9.7%

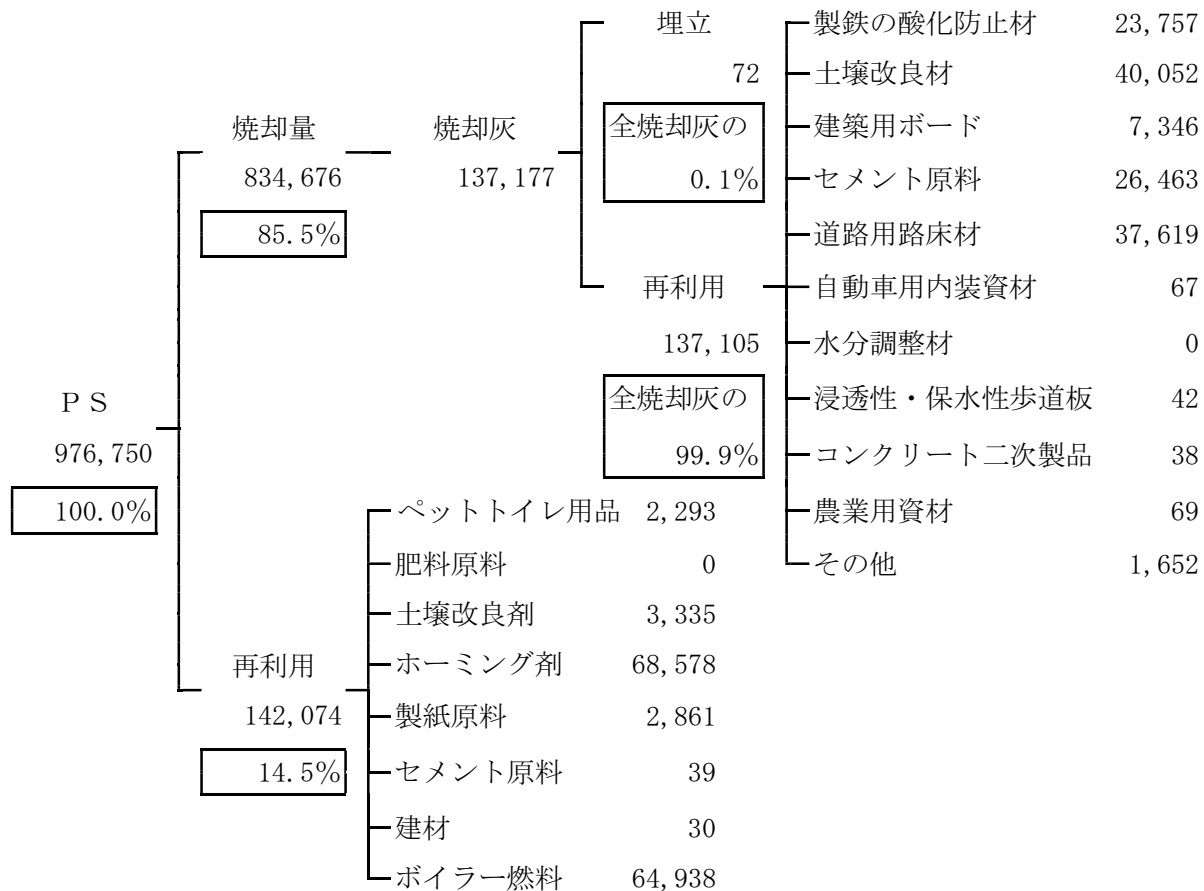
資料：経済産業省「2019年経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」、富士市「紙・パルプ生産量調査」



## 8 ペーパースラッジ（P S）の処理・処分状況

### (1) 平成 30 年度ペーパースラッジ（P S）の処理・処分状況

(単位：トン／年)



P S 発生量		焼却灰量計				埋立量合計
発生量	焼却灰量	自家焼却	共同焼却	その他		
976,750	834,676	510,271	300,653	23,752		
		<div> <div>大手工場 → 焼却灰量 = 再利用量 + 埋立量</div> <div>342,552      53,749      53,749      0</div> </div>	<div> <div>中小工場 → 焼却灰量 = 再利用量 + 埋立量</div> <div>167,719      21,629      21,587      42</div> </div>			72
			<div> <div>共同焼却 → 焼却灰量 = 再利用量 + 埋立量</div> <div>300,653      61,799      61,769      30</div> </div>			

対象事業所：50 社 57 工場

※ P S 発生量：水分 65%換算値

※ 大手工場：資本金 3 億円以上及び従業員数 300 人以上    中小工場：資本金 3 億円未満又は従業員数 300 人未満

※ 共同焼却：富士製紙協同組合、岳南第一製紙協同組合

## (2) P S 発生量及び処理状況推移

単位：トン（P S 水分：65%、P S 灰水分：0%）

年度	会社数	工場数	P S 発生量	P S 再利用量	P S 再利用率	P S 灰 発生量	P S 灰 再利用量	P S 灰 再利用率	P S 灰 埋立量	P S 灰 埋立率
H16	67	78	1,187,525	56,105	4.7%	192,154	159,428	83.0%	32,726	17.0%
H17	63	76	1,198,806	66,563	5.6%	197,294	177,824	90.1%	19,470	9.9%
H18	63	74	1,166,206	67,967	5.8%	196,899	172,782	87.8%	24,117	12.2%
H19	60	72	1,089,245	72,228	6.6%	188,668	167,867	89.0%	20,801	11.0%
H20	62	72	1,052,224	64,946	6.2%	171,946	166,577	96.9%	5,369	3.1%
H21	61	72	936,409	57,586	6.1%	164,178	161,798	98.6%	2,380	1.4%
H22	58	70	1,008,368	65,095	6.5%	163,834	162,449	99.2%	1,385	0.8%
H23	56	69	991,599	63,498	6.4%	138,759	137,651	99.2%	1,108	0.8%
H24	55	68	874,186	69,655	8.0%	128,098	126,939	99.1%	1,159	0.9%
H25	53	63	860,772	65,494	7.6%	141,674	141,444	99.8%	230	0.2%
H26	51	62	891,456	81,026	9.1%	147,473	146,727	99.5%	746	0.5%
H27	52	61	938,726	125,808	13.4%	145,662	143,048	98.2%	2,614	1.8%
H28	51	58	965,915	125,896	13.0%	146,620	146,113	99.7%	507	0.3%
H29	50	57	960,457	126,868	13.2%	138,445	136,116	98.3%	2,329	1.7%
H30	50	57	976,750	142,074	14.5%	137,177	137,105	99.9%	72	0.1%

## 9 製紙機械産業の概要

### (1) 発展過程と現状

製紙・パルプ産業が発達し始めた明治中期頃から製紙機械に携わる工場が静岡県に勃興した。この当時は、他の機械製造と兼業する業者が主で、専業者が出現したのは大正末期からであるが、本格的な製紙機械の専業メーカーの誕生は、戦後になってからである。戦後、静岡県の製紙機械工業は、従来の工作機械の製造技術、鋳物技術などを生かして、紙・パルプ産業の盛んな富士地区を中心に発達し、以後、文化の発達とともに紙の需要が高まる中で、研究開発が着々と進められ、原質調整機械、抄紙機の開発などにより、わが国の製紙機械工業の発展に大きく寄与した。

こうした背景の中で、平成 29 年の富士市のパルプ装置・製紙機械産業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等はそれぞれ全国の 33.1%、24.5%、26.4%を占め、富士市は全国有数の製紙機械工業の集積地になっている（平成 29 年全国パルプ装置・製紙機械産業の事業所数 121 事務所、従業者数 2,566 人、製造品等出荷額 613 億 4 千 6 百万円）。

### (2) 静岡県のパルプ装置・製紙機械産業の年次別推移（従業者 4 人以上の事業所）

年次	事業所数	従業者数	現金給与総額 (万円)	原材料使用額等 (万円)	製造品出荷額等 (万円)
H23	69	1,026	477,220	786,284	1,782,986
H24	63	1,057	494,537	1,013,040	1,992,314
H25	65	1,355	686,616	1,220,399	2,520,285
H26	58	1,287	610,545	1,440,936	2,840,274
H27	66	1,231	537,072	1,605,854	2,897,133
H28	55	979	430,656	1,112,887	2,245,845
H29	49	936	445,168	1,227,230	2,268,572

資料：富士市「平成 30 年工業統計調査結果」

### (3) 富士市のパルプ装置・製紙機械産業の年次別推移（従業者 4 人以上の事業所）

年次	事業所数	従業者数	現金給与総額 (万円)	原材料使用額等 (万円)	製造品出荷額等 (万円)
H23	49	677	330,980	545,410	1,215,671
H24	44	613	288,800	669,476	1,227,726
H25	50	941	509,867	887,792	1,857,792
H26	46	920	436,782	1,055,756	2,050,736
H27	50	902	392,428	1,264,407	2,087,877
H28	44	665	327,313	696,259	1,404,689
H29	40	629	338,847	947,171	1,620,574

資料：富士市「平成 30 年工業統計調査結果」

### Ⅲ 富士市の立地企業及び団地の概要

#### 1 主要企業、工業団地等

(1) 産業分類別の事業所数、敷地面積（従業者 30 人以上の事業所）

産業中分類	静岡県					富士市				
	事業 所数 (事業 所)	前年比 (%)	敷地 面積 (㎡)	構成比 (%)	前年比 (%)	事業 所数 (事業 所)	前年比 (%)	敷地 面積 (㎡)	構成比 (%)	前年比 (%)
総数	2,337	1.8	57,927,968	100.0	0.5	229	△ 0.4	6,263,436	100.0	0.2
9 食料品	316	2.3	3,948,917	6.8	2.8	22	0.0	355,419	5.7	△ 3.9
10 飲料・たばこ・飼料	59	9.3	1,853,711	3.2	3.4	3	0.0	84,187	1.3	0.0
11 繊維工業	35	2.9	1,012,104	1.7	△ 0.8	2	0.0	X	X	X
12 木材・木製品	23	0.0	985,046	1.7	4.0	4	0.0	155,161	2.5	0.0
13 家具・装備品	26	8.3	423,057	0.7	7.3	—	—	—	—	—
14 パルプ・紙	160	0.0	4,664,469	8.1	△ 0.0	76	△ 7.3	2,687,110	42.9	△ 0.9
15 印刷	55	0.0	536,344	0.9	6.3	2	0.0	X	X	X
16 化学工業	108	0.9	6,396,271	11.0	0.5	19	5.6	1,078,793	17.2	2.5
17 石油・石炭	3	0.0	99,884	0.2	X	—	—	—	—	—
18 プラスチック製品	212	5.0	3,410,873	5.9	△ 0.8	21	23.5	270,515	4.3	6.2
19 ゴム製品	32	6.7	842,923	1.5	2.0	—	—	—	—	—
20 なめし革・同製品	3	50.0	5,079	0.0	X	—	—	—	—	—
21 窯業・土石	27	△ 3.6	1,552,639	2.7	△ 5.4	2	0.0	X	X	X
22 鉄鋼業	34	0.0	888,033	1.5	△ 23.5	7	16.7	102,409	1.6	13.4
23 非鉄金属	35	△ 7.9	2,406,098	4.2	△ 5.5	—	—	—	—	—
24 金属製品	182	4.0	2,277,205	3.9	2.3	12	0.0	109,464	1.7	△ 7.3
25 はん用機械	66	6.5	1,657,083	2.9	△ 1.9	7	0.0	264,678	4.2	0.0
26 生産用機械	201	△ 1.5	4,006,442	6.9	0.1	16	△ 11.1	170,294	2.7	△ 10.9
27 業務用機械	49	4.3	788,617	1.4	2.5	6	0.0	29,154	0.5	71.6
28 電子部品・デバイス	63	0.0	860,100	1.5	0.5	5	0.0	30,020	0.5	0.0
29 電気機械	179	△ 1.1	3,726,875	6.4	△ 0.1	10	0.0	44,767	0.7	1.4
30 情報通信機械	18	△ 10.0	375,784	0.6	△ 1.4	—	—	—	—	—
31 輸送機械	393	2.6	14,025,587	24.2	2.4	12	9.1	774,636	12.4	1.8
32 その他	58	1.8	1,184,827	2.0	4.2	3	0.0	23,696	0.4	0.2
秘 匿	—	—	—	—	—	—	—	83,133	1.3	△ 0.7

資料：静岡県「平成 30 年工業統計調査報告書」、富士市「平成 30 年工業統計調査結果」

※ 下線部は重化学工業 ※ 「—」は該当の数値なし、「X」は秘匿箇

(2) 主要進出企業の状況

名称	業種	所在地	操業開始	旧名称
旭化成(株) 富士支社	化学	鮫島	S 34	
(株)A D E K A 富士工場	化学	富士岡	S 35	旭電化工業(株)
トーヨーカラー(株) 富士製造所	化学	天間	S 37	東洋インキ製造(株)、 トーヨーケム(株)
ビヨンズ(株) 本社工場	輸送用機械	大淵	S 39	(株)後藤製作所
日本食品化工(株) 富士工場	食料品	田島	S 39	
宇部興産建材(株) 富士工場	窯業・土石	五貫島	S 39	ウベボード(株)
興和(株) 富士工場	化学	大野新田	S 40	
ポリプラスチック(株) 富士工場	化学	宮島	S 41	
三菱商事フードテック(株)富士工場	化学	中河原	S 42	東和化成工業(株)
ジヤトコ(株) 本社工場	輸送用機械	今泉	S 45	ジヤトコ(株)、日産自動車 (株)
J F E 商事コイルセンター(株) 静岡工場	鉄鋼	大淵	S 46	静岡スチール(株)
U C C 上島珈琲(株) 富士工場	飲料	増川	S 48	
静甲(株) 富士川工場	機械	北松野	S 63	
(株)小糸製作所 富士川工機工場	機械	中之郷	H 4	
(株)パイオラックス 富士工場	輸送用機械	南松野	H10	
ユニプレス(株) 富士事業所	輸送用機械器具	青葉町	H10	山川工業(株)と大和工業(株) が合併
東芝キャリア(株) 富士事業所	電気機械器具	蓼原	H11	(株)東芝
日本製紙(株) 富士工場	パルプ・紙・ 紙加工品	比奈・蓼原	H15	大昭和製紙(株) 他と合併
白石工業(株) 富士川工場	食料品	中之郷	H19	
パーパス(株) 本社工場	金属製品	西柏原新田	H23	高木産業(株)
興国インテック(株) 富士工場	ゴム	大淵	H24	
ポラテック富士(株) 本社工場	木材	大淵	H25	
日医工(株) 静岡工場	化学	中河原	H26	日医工ファーマテック(株)
ケンコーマヨネーズ(株)静岡富士山 工場	食料品	大淵	H26	
(株)加藤美蜂園本舗 富士工場	食料品	大淵	H28	
クミアイ化学工業(株) 静岡工場	化学	中之郷	H29	イハラケミカル工業(株)

※既存事業所の新・増設は除く。

※合併・名称変更した場合は、変更年を記載

(3) 主要企業の立地状況（従業者 300 人以上）

「規模(従業員数)」欄の①は 1,000 人以上、②は 500 人以上 1,000 人未満、③は 500 人未満である。

令和元年 12 月末時点

業種	事業所名	規模 (従業員数)	所在地	主要製品名
化 学 工 業	旭化成(株) 富士支社	①	鮫島 2-1	中空糸状ろ過膜、電子材料、感光性樹脂
電気機械器具 製 造 業	東芝キャリア(株) 富士事業所	①	蓼原 336	空調機器、 コンプレッサ・インバータ、 コールドチェーン機器・換気扇
輸送用機械 器具製造業	ジャトコ(株) 本社工場	①	今泉 700-1	自動車用変速機、 自動車用変速機部品、 自動車用部品
食料品製造業	(株)デイリーはやしや 富士山工場	②	大淵 3800-3	弁当、おにぎり、寿司
金 属 製 品 製 造 業	パーパス(株) 本社工場	②	西柏原新田 201	ガス機器、電子制御機器、 情報処理ソフトウェア
化 学 工 業	ポリプラスチック(株) 富士工場	②	宮島 973	ポリアセタール樹脂、 液晶樹脂、 ポリブチレンテレフタレート樹脂
輸送用機械 器具製造業	ユニプレス(株) 富士事業所	②	青葉町 19-1	自動車用トランスミッション 部品、精密金型治工具製品
食料品製造業	(株)プライムベーカリー	③	南松野 2108-1	調理パン、惣菜軽食、 デザート
パルプ・紙・ 紙 加 工 品 製 造 業	日本製紙(株) 富士工場	③	比奈 798	段ボール原紙、白板紙
化 学 工 業	興和(株) 富士工場	③	大野新田 332-1	キャベジンコーワ α、 アデホスコーワ顆粒、 バンテリンコーワ
化 学 工 業	トーヨーカラー(株) 富士製造所	③	天間 400	顔料、 オフセットインキ
化 学 工 業	日医工(株) 静岡工場	③	中河原 88	セフトリアキソンナトリウム ロキシプロフェンナトリウム ビソプロロールフマル
輸送用機械 器具製造業	ビヨンズ(株) 本社工場	③	大淵 2429-3	自動車部品、 金型治工具、 金属コーティング各種
食料品製造業	(株)ホテイフーズコーポレー ション 富士川工場	③	南松野 2500	ペットボトル飲料 缶飲料 やきとり缶詰

(4) 工業団地の概要（令和元年12月末時点）

●富士市浮島工業団地

組 合 設 立 昭和47年9月19日  
 組 合 所 在 地 〒417-0826 静岡県富士市中里2626番地の22  
 TEL. 0545-32-2131 / FAX. 0545-32-2199  
 事 業 年 度 昭和47年度～昭和53年度  
 規 模 全体面積211,899 m<sup>2</sup> 工場用面積144,317 m<sup>2</sup>  
 業 種 構 成 金属製品4、紙加工2、プラスチック3、化学工業3、電気機械器具2、  
 その他12 計26社  
 ホームページ <http://www.wbs.ne.jp/bt/ukishima/>

立地企業一覧

会社名	電話	資本金 (千円)	従業者 (人)	所在地	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	生産品目	操業年
富士フルモールド	33-0069	—	2	中里2626-26	742	機械設計	S51
(株)川嶋昆布	32-2043	10,000	13	中里2626-33	1,260	海藻類の加工処理	S51
新興紙工(株)	33-0881	12,000	13	中里2626-21	6,445	包装紙、紙製荷造用 緩衝剤	S51
浜松熱処理工業(株)	32-0215	150,000	33	中里2608-41	3,306	金属部品熱処理	S51
静光電機工業(株)	32-0688	68,000	33	中里2626-23	4,960	配電盤の組立	S51
富士資材加工(株)	32-1617	12,250	13	中里2608-53	4,961	電線用木製巻枠、 金属製品解体加工	S51
(株)スギヤマ	32-2182	100,000	150	中里2608-50	20,775	金属部品切削加工、 鋁鉄鋳造	S52
川口印刷工業(株)	32-2181	10,000	3	中里2626-18	827	オフセット印刷	S52
ユニプレス精密(株)	32-2125	353,000	249	中里2608-25	14,889	自動車用トランス ミッション部品製造	S52
梅沢鋳工(株)	32-2177	10,000	35	中里2608-48	3,026	鋳鉄鋳物製造、 発泡模型製造	S52
(株)NLMエカル	054-388- 3555	80,000	13	中里2626-24	7,268	通信機器等収納用函 製造販売	S52
丸一化成(株)	32-0147	20,000	123	中里2626-31	7,208	製紙用助剤、 健康食品	S52
三協化学(株)	32-0128	10,000	6	中里2608-52	1,358	漁網用防藻剤	S52
光洋産業(株)	32-0555	180,000	10	中里2626-17	2,340	接着剤製造	S53

会社名	電話	資本金 (千円)	従業者 (人)	所在地	敷地面積 (㎡)	生産品目	操業年
(株)ベイシン	32-1248	10,000	93	中里 2608-34	19,139	自動車・家電 樹脂部品製造	S 53
キソー(株)	33-0022	30,000	36	中里 2608-27	6,595	環境洗浄機器、高圧 ポンプの製造販売	S 53
杉澤プラスチック 工業(株)	32-2021	10,000	16	中里 2626-20	1,769	合成樹脂射出成型	S 53
(株)篠原産業	32-2160	10,000	40	中里 2608-43	12,641	製鋼原料販売	S 54
(株)マグナプロセス	32-1146	12,000	2	中里 2626-40	826	企画印刷	S 54
ピジョン ホームプロダクツ(株)	32-2151	300,000	116	中里 2608-31	5,457	洗剤・化粧品	S 54
ユニプレスモールド(株)	32-2098	457,500	46	中里 2608-73	10,975	自動車樹脂部品製造	S 58
(株)セイコー クリエイト	33-0831	44,800	11	中里 2608-39	1,736	産業ロボット設計・施 工、ソフトウェアシス テムの開発	H 3
(株)微助人	32-2956	10,000	4	中里 2626-25	745	看板製作	H 5
(株)TOKAI 容器検査部	32-2133	1,400,000	31	中里 2608-58	6,600	L P ガス容器検査	H 6
(株)富士鋳物商事	32-2182	15,000	2	中里 2608-50	(株)スギ ヤマ敷 地内	銑鉄鑄造用資材の購 入・製造	H18
富士大洋(株)	30-6455	10,000	16	中里 2608-51	3,308	原紙平版及び小巻加工	H30



●駿河金属工業団地

組 合 設 立 昭和 55 年 4 月 1 日  
 組合所在地 〒416-0946 静岡県富士市五貫島 847 番地の 4  
 TEL. 0545-64-1166 / FAX. 0545-64-1166  
 事 業 年 度 昭和 48 年度～昭和 49 年度  
 規 模 全体面積 21,643 m<sup>2</sup> 工場用面積 20,458 m<sup>2</sup>  
 業 種 構 成 一般機械器具 7、金属製品 5、その他 1 計 13 社

立地企業一覧

会社名	電話	資本金 (千円)	従業 者 (人)	本社所在地	敷地 面積 (m <sup>2</sup> )	生產品目	操業年
(株)大成鉄工所	61-2318	25,000	10	五貫島 790-2	1,913	紙加工機製造	S 55
一富正(株)	63-5395	10,000	14	五貫島 770-24	492	機械部品加工、機械 製作	S 55
(株)三杉製作所	63-4454	5,000	22	五貫島 770-21	1,440	金型、治具製造修理	S 55
(有)みくに工業	63-4457	9,805	7	五貫島 770-9	927	プレス加工 精密板金加工	S 55
(株)豊島精工	63-0154	10,000	5	五貫島 770-23	379	機械部品切削加工	S 55
東海シーレックス(株)	61-5659	10,000	11	五貫島 770-8	2,452	産業機械製作	S 55
(株)大村鉄工所	63-3261	10,000	7	五貫島 770-11	1,282	機械製缶	S 55
(有)森島工業	61-2951	10,000	6	五貫島 770-1	968	鉄骨、鋼構造物	S 55
(株)仁藤組	61-1143	20,000	12	本市場町 1027	970	鉄骨、総合建設業	S 55
(株)鈴昇	61-8497	15,000	62	五貫島 777	2,023	鋼板溶断、 シャーリング	S 55
(株)笠井鉄工所	61-0061	10,000	1	五貫島 770-5	3,178	貸工場	
エスケイ エンジニアリング(株)	03-3843 -2449	15,000	3	東京都台東区 元浅草 1-8-7	4,746	貸工場	
富士朝日工業(株)	61-0155	10,000	1	中島 170	873	貸工場	

# ●富士グリーン工業団地

組 合 設 立 昭和 62 年 4 月 1 日  
 組 合 所 在 地 〒417-0801 静岡県富士市大淵 4527 番地の 21  
 TEL. 0545-36-2200 / FAX. 0545-36-2611  
 事 業 年 度 昭和 63 年度～平成 2 年度  
 規 模 全体面積 92,606 m<sup>2</sup> 工場用面積 52,937 m<sup>2</sup>  
 業 種 構 成 金属製品 3、一般機械 2、食料品 2、電気機械 2、木材木製品 1、その他 3  
 計 13 社  
 ホームページ <http://www.siz-sba.or.jp/fujigreen/>

## 立地企業一覧

会社名	電話	資本金 (千円)	従業者 (人)	本社所在地	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	生産品目	操業年
(株)ニッター	36-0151	12,000	6	大淵 4527-4	7,030	非鉄金属製造業	H 2
(株)エイペックス	36-2111	20,000	17	大淵 4527-6	4,244	電気機械器具 製造業	H 2
(有)清水屋食品	36-2555	3,000	15	大淵 4527-15	1,855	食料品製造業	H 2
(株)三協製作所	36-0177	10,000	10	大淵 4527-14	2,178	金属製品製造業	H 2
ビヨンズ(株)	36-0112	10,000	10	大淵 2429-3	3,905	金属製品製造業	H 2
(株)ガルス	36-2210	10,000	7	大淵 4527-9	1,011	リネンサプライ業	H 2
(有)大石塗装	36-2510	10,000	6	大淵 4527-18	1,711	金属製品塗装業	H 2
富士木材(株)	36-2266	50,000	22	大淵 3800-8	8,356	木材木製品 製造業	H 2
(株)かつまた	36-2418	10,000	40	大淵 3478-1	8,233	食料品製造業	H 2
キソー(株) 三生医薬(株)	33-0023	30,000	111	中里 2608	8,794	医薬品製造業	H 2
フジエンタープライズ(株)	36-2800	10,000	14	大淵 4527-16	1,656	事務器部品 製造業	H 2
東工電機(株)	35-2727	10,000	4	大淵 4527-17	2,382	電気機械器具 製造業	H 2
タイヨーパッキング(株)	35-2975	10,500	11	荒川区東日暮里 1-26-5	1,782	電子部品製造業	H 8

●富士山フロント工業団地

完 成 平成 21 年 9 月

所 在 地 静岡県富士市大淵字城山、元篤地内

規 模 全体面積 425,787 m<sup>2</sup> 工場用面積 360,579 m<sup>2</sup>

業 種 構 成 金属製品 3、食料品 5、プラスチック 2、パルプ・紙・紙加工品製造業 1

木材・木製品製造業 1、物流業 2、印刷業 1、業務用機械器具製造業 1 計 16 社

立地企業一覧

会社名	電話	資本金 (千円)	従業者 (人)	本社所在地	敷地 面積 (m <sup>2</sup> )	生產品目	操業年
(有)増田製作所	37-1700	5,000	68	大淵 3800-1	12,259	金属製品	H22
エフ・シー・アイ(株)	35-3568	50,000	98	大淵 3800-12	19,572	プラスチック製品	H23
(株)セキノ興産	37-0715	92,000	33	富山市水橋 開発 277-12	16,886	金属製品	H23
ひかり(株)	37-1913	10,000	50	大淵 3800-9	10,511	食料品	H24
町田食品(株)	35-7780	25,000	33	久沢 269-1	13,239	食料品	H24
富士木材(株)	36-1188	50,000	47	大淵 3800-8	10,575	紙加工品	H25
ポラテック富士(株)	37-1192	30,000	104	大淵 3800-7	71,058	木材・木製品	H25
鈴与(株)	35-5811	1,000,000	120	静岡市清水区 入船町 11-1	35,863	倉庫業	H25
(株)日立物流中部	37-2211	100,000	242	名古屋市中区 錦 2-14-21	32,793	一般貨物自動車 運送業	H25
(株)デイリーはやしや	37-2400	83,000	400	松本市和田南 西原 4010-28	21,089	食料品	H25
ケンコーマヨネーズ(株)	37-1500	5,424,030	163	東京都杉並区高 井戸東 3-8-13	37,309	食料品	H26
(株)P' S ネットワーク	35-7300	10,000	40	大淵 3800-10	12,045	オフセット印刷	H26
(有)村松鉄工所	36-0400	3,000	28	大淵 3800-51	10,005	金属製品	H26
富士プラスチック(株)	37-2626	10,000	86	大淵 3800-52	8,580	プラスチック製品	H27
(株)伊藤製作所	36-0330	10,000	187	大淵 3800-16	21,100	業務用機械器具	H27
(株)加藤美峰園本舗	37-1182	49,500	23	東京都台東区 千束 1-1-5	27,689	食料品	H28

## Ⅳ 富士市の港湾の概要

### 1 港湾・貿易

#### (1) 田子の浦港の沿革

古くは「吉原湊」と呼ばれた田子の浦港は駿河湾の最奥部にあり、富士・愛鷹山麓の南を流れる沼川と潤井川の合流点に建設された「堀込式人工港湾」で、昭和 33 年から 10 余年の歳月と総工費 130 億円をかけて完成した。

岳南地域は、江戸時代には「駿河半紙」の特産地として名高く、近代になると製紙・パルプ工業などの軽工業が発達した。戦後は、食品加工・化学繊維・自動車・電気機械などの大企業が進出し、加えて関連中小企業の設立や設備投資が相次ぎ、新しい工業地域として脚光を浴びるようになった。

昭和 30 年代に入り、静岡県は産業基盤整備を重点とした総合開発計画を策定し、この岳南地域に駿河湾臨海工業地帯の拠点となる「工業港」の建設を決定し、昭和 33 年 4 月から第一期築港工事に着手した。

工事は、海底勾配が急峻でしかも太平洋の荒波を直接受ける漂砂海岸という厳しい自然条件の中で進められ、昭和 36 年 8 月に開港、同年 12 月には管理事務所の設置、翌 37 年 2 月待望の第一船入港と、港湾管理体制は着々と整えられ、昭和 41 年 4 月には関税法による開港の指定と、名実ともに国際貿易港として順調に発展してきた。

このような中、平成 13 年に、平成 20 年代前半を目標年次とする港湾計画が策定（改訂）された。この計画に基づき、物流・生産機能の拡充とともに多様化する港湾への要請にも適切に対応していくため、「産業活動を支える物流機能の高度化」と市民生活向上への寄与を目標に掲げ、船舶の大型化等に対応した施設整備が展開され、平成 22 年度には中央 2 号耐震岸壁が完成し、平成 29 年度には中央航路・泊地の水深 12m 化が完成した。

なお、令和元年における入港船舶は 1,653 隻、取扱貨物は 329 万トンを数え、県内港湾全体貨物量の約 13%、県内第 2 位の位置を占めている。

一方、工業都市として栄えてきた富士市は、かつて、港内に工場排水による汚泥堆積を引き起こした。このため、昭和 46 年 4 月からの 4 次にわたる浚渫作業により港湾施設の機能回復が進められ、昭和 55 年度に堆積汚泥は一掃され、港の環境は大幅に改善された。

しかし、平成 14 年に河川から流入する土砂と岳南排水路から流入する S S（浮遊物質）などにより、堆積物にダイオキシン類が含有していることが確認されたため、現在も適切な浚渫除去が行われている。

また、この浚渫工事により生じた土砂等を盛土材として利用し整備が進められていた「ふじのくに田子の浦みなと公園」は、平成 25 年 6 月に一部が供用開始され、平成 30 年 2 月 23 日に完成した。

鈴川海岸においては、高潮・津波対策として既存の堤防を補強し、併せて緑地を整備する「鈴川海岸整備事業」が地元住民の理解と協力のもと推進され、平成 26 年度に海岸堤防が完成し、平成 31 年 4 月には「鈴川海浜スポーツ公園」の利用が開始された。

## (2) 田子の浦港湾の区域

関係法令	区分	区 域	面積 (㎡)
港 湾 法	港湾区域	中丸三角点（4.9メートル）から67度2,830メートルの点（E=138° 41' 44"、N=35° 08' 32"）を中心として1,335メートルの半径を有する円内の海面並びに沼川河合橋、和田川吉原橋、潤井川潤井川橋(田子の浦港高架橋)及び江川江川水門各下流の河川水面、並びに富士市依田橋字三ツ又、字市川、富士市鈴川字堤外白倉及び富士市前田字舞台地先水面	1,383,504
都市計画法	臨港地区	平成28年3月1日静岡県告示第251号による（計画図のとおり）	1,207,000
港 則 法	港 域	沼川東海道本線鉄道橋南西端を中心とする半径1,600メートルの円内の海面並びに沼川沼川新橋、和田川新和田川橋、潤井川田子の浦橋及び江川江川水門各下流の河川水面	1,096,300

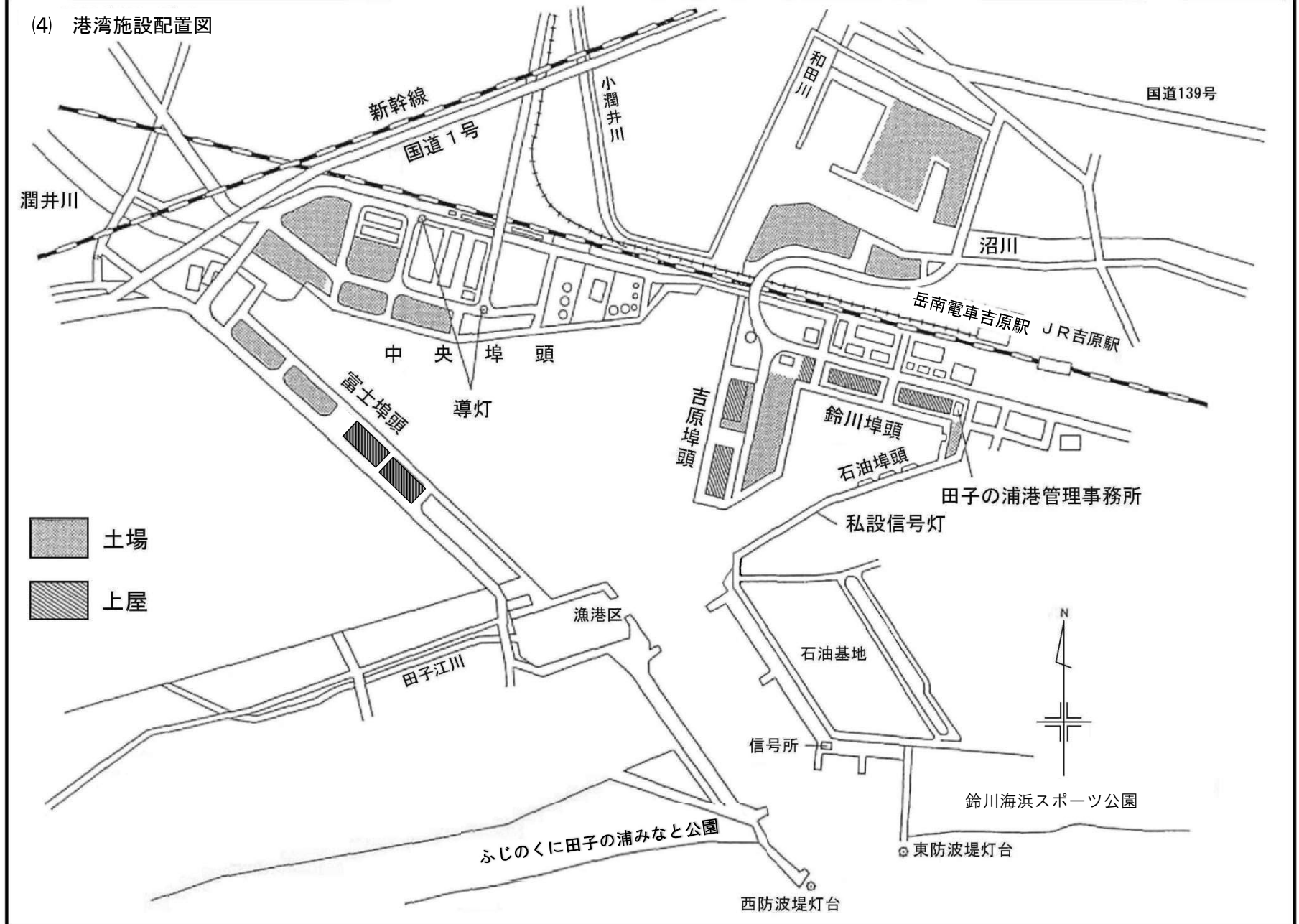
## (3) 航路標識及び公共、専用岸壁

名 称	管理者	位 置	灯色 燭光数	灯質周期 明暗	光達距離	灯の高さ
田子の浦港 東防波堤灯台	海上保安庁	E 138-42-00 N 35-08-07	赤色 110カンデラ	明3秒 暗3秒	5.5カイリ	平均水面上 16.40m
田子の浦港 西防波堤灯台	海上保安庁	E 138-41-53 N 35-08-04	緑色 110	明3秒 暗3秒	5.5カイリ	平均水面上 16.40m
田子の浦港 導灯（前灯）	海上保安庁	E 138-41-25 N 35-08-39	緑色 1,400	不動光	10.0カイリ	平均水面上 41.82m
田子の浦港 導灯（後灯）	海上保安庁	E 138-41-19 N 35-08-45	緑色 1,400	不動光	10.0カイリ	平均水面上 48.94m
石油埠頭 私設信号灯	静岡県	E 138-41-59 N 35-08-15	赤色	—	—	平均水面上 12.50m

埠 頭	名 称	けい船能力		延長 (m)	計画水深 (m)	備 考
		船級 D/W	船席			
中央埠頭	中央1号岸壁	30,000	1	240	-12.0	
	中央2号岸壁	30,000	1	240	-12.0	
	中央3～4号岸壁	5,000	2	250	-7.5	
吉原埠頭	吉原1号岸壁	10,000	1	167	-9.0	
	吉原2号岸壁	5,000	1	125	-7.5	
富士埠頭	富士1号岸壁	10,000	1	240	-10.0	
	富士2号岸壁	5,000	1	135	-7.5	
	富士4号岸壁	3,000	1	115	-6.5	
	富士5号岸壁	5,000	1	120	-7.5	
	富士6号岸壁	5,000	1	130	-7.5	
鈴川埠頭	鈴川1～2号岸壁	2,000	2	175	-5.5	
	鈴川3～5号岸壁	2,000	3	310	-5.5	
石油埠頭	石油1～2号岸壁	5,000	1	145m、1基	-7.5	
	石油3号ドルフィン	2,000	1	1基	-5.5	
	石油4号ドルフィン	2,000	1	1基	-5.5	
	石油5号ドルフィン	2,000	1	1基	-5.5	
計			20	2,392 4基		

資料：田子の浦港要覧 2020

(4) 港湾施設配置図



## (5) 令和元年田子の浦港貿易概況

## ア 貿易額

単位：百万円

	田子の浦港				全国港総額		
	平成 30 年 貿易額	令和元年 貿易額	前年比 (%)	全国 順位	平成 30 年 貿易額	令和元年 貿易額	前年比 (%)
輸 出	11,908	11,514	96.7	96	81,478,753	76,931,665	94.4
輸 入	30,222	24,703	81.7	90	82,703,304	78,599,510	95.0
輸出入合計	42,130	36,217	86.0	96	164,182,057	155,531,175	94.7

※全国順位は全国 143 税関中の順位

## イ 輸出 —115 億 1,366 万円—

品目別に見ると、写真用・映画用材料が 33 億 6,556 万円（構成比 29.2%）で最も多く、以下、電気計測機器 20 億 2,100 万円（同 17.6%）、鉄鋼くず 19 億 1,513 万円（同 16.6%）などとなっている。

地域別に見ると、大韓民国が 34 億 3,115 万円（構成比 29.8%）で最も多く、以下、ベルギー 23 億 6,463 万円（同 20.5%）、中華人民共和国 15 億 365 万円（同 13.1%）などとなっている。

## ウ 輸入 —247 億 285 万円—

品目別にみると、パルプが 110 億 4,383 万円（同 44.7%）で最も多く、以下、とうもろこし 68 億 8,605 万円（構成比 27.9%）、有機化合物 35 億 1,446 万円（同 14.2%）などとなっている。

地域別に見ると、ブラジル 67 億 357 万円（同 27.1%）、アメリカ合衆国が 58 億 1,155 万円（構成比 23.5%）で最も多く、以下、インドネシア 23 億 353 万円（同 9.3%）などとなっている。

## 名古屋税関管内（貿易額）

単位：百万円

	清水税関支署内（静岡県）			名古屋税関管内		
	平成 30 年 貿易額	令和元年 貿易額	前年比 (%)	平成 30 年 貿易額	令和元年 貿易額	前年比 (%)
輸 出	2,185,837	2,117,945	96.9	19,390,080	18,982,666	97.9
輸 入	1,106,776	1,074,446	97.1	10,348,654	9,956,678	96.2
輸出入合計	3,292,613	3,192,392	97.0	29,738,733	28,939,343	97.3

資料：名古屋税関資料

## (6) 田子の浦港海上出入貨物の推移

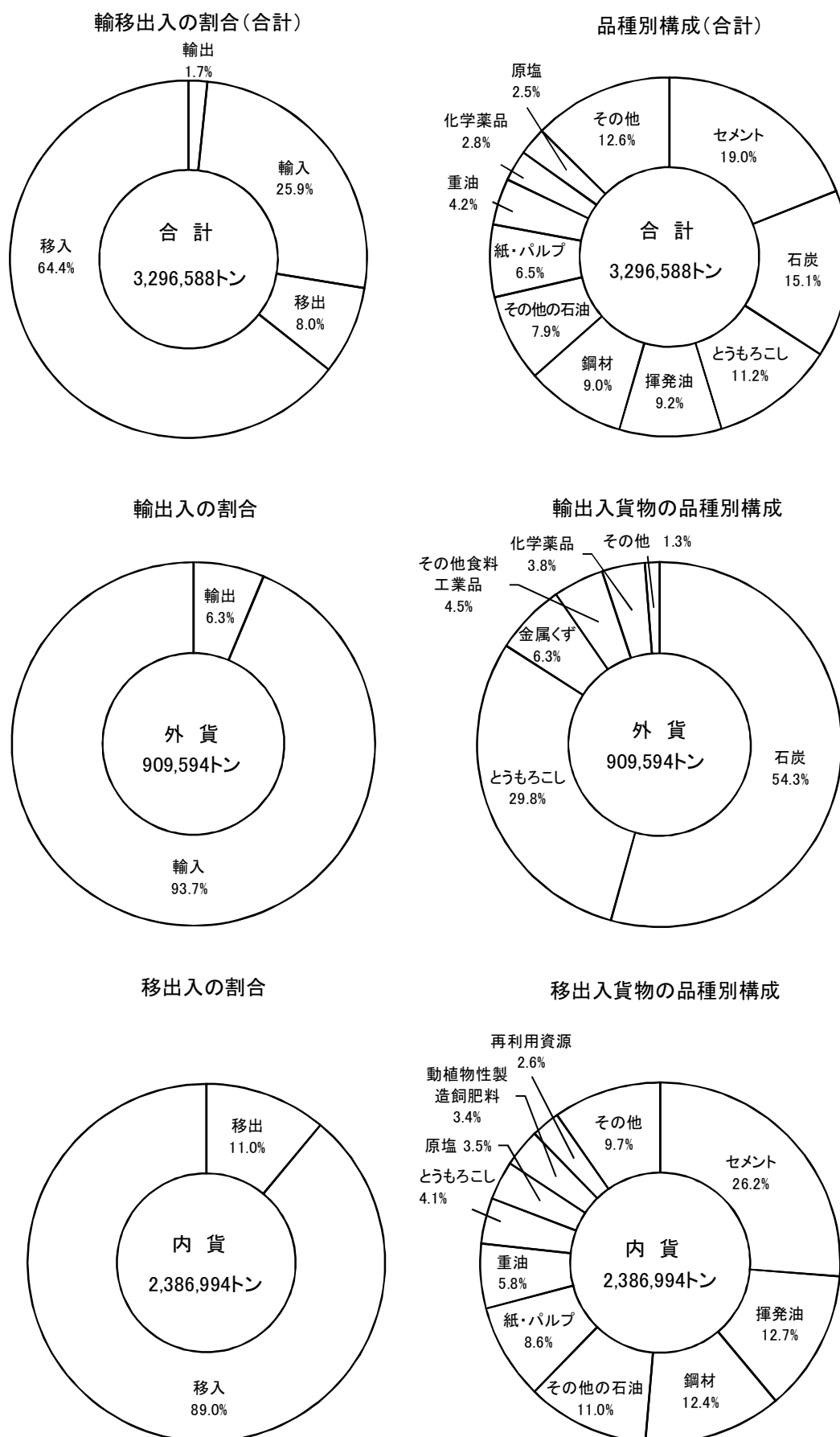
単位:トン

	合計		外貿貨物		内貿貨物		H30 年対比 (%)
	(外内貿計)	輸移出 輸移入	計	輸出 輸入	計	移出 移入	
H15	6,487,828	566,116 5,921,712	1,615,640	89,915 1,525,725	4,872,188	476,201 4,395,987	177.2
H16	6,762,098	589,989 6,172,109	1,840,681	99,028 1,741,653	4,921,417	490,961 4,430,456	184.7
H17	6,811,559	563,290 6,248,269	1,841,433	92,953 1,748,480	4,970,126	470,337 4,499,789	186.1
H18	6,511,238	534,024 5,977,214	1,766,963	88,351 1,678,612	4,744,275	445,673 4,298,602	177.9
H19	6,158,088	571,029 5,587,059	1,770,864	95,588 1,675,276	4,387,224	475,441 3,911,783	168.2
H20	5,805,389	614,562 5,190,827	1,478,620	69,668 1,408,952	4,326,769	544,894 3,781,875	158.6
H21	4,733,420	496,860 4,236,560	1,123,968	103,186 1,020,782	3,609,452	393,674 3,215,778	129.3
H22	4,729,963	487,470 4,242,493	1,006,383	89,776 916,607	3,723,580	397,694 3,325,886	129.2
H23	5,081,905	459,176 4,622,729	1,488,477	98,484 1,389,993	3,593,428	360,692 3,232,736	138.8
H24	4,509,863	436,294 4,073,569	1,259,456	108,965 1,150,491	3,250,407	327,329 2,923,078	123.2
H25	3,644,775	418,061 3,226,714	801,449	95,139 706,310	2,843,326	322,922 2,520,404	99.6
H26	3,483,721	382,346 3,101,375	780,419	94,193 686,226	2,703,302	288,153 2,415,149	95.2
H27	3,488,882	360,194 3,128,688	911,477	86,536 824,941	2,577,405	273,658 2,303,747	95.3
H28	3,581,056	361,147 3,219,909	1,078,161	56,854 1,021,307	2,502,895	304,293 2,198,602	97.8
H29	3,601,795	367,453 3,234,342	1,093,235	56,924 1,036,311	2,508,560	310,529 2,198,031	98.4
H30	3,660,525	341,705 3,318,820	1,099,011	52,258 1,046,753	2,561,514	289,447 2,272,067	100.0
R 1	3,296,588	320,716 2,975,872	909,594	56,955 852,639	2,386,994	263,761 2,123,233	90.1

資料：令和元年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」



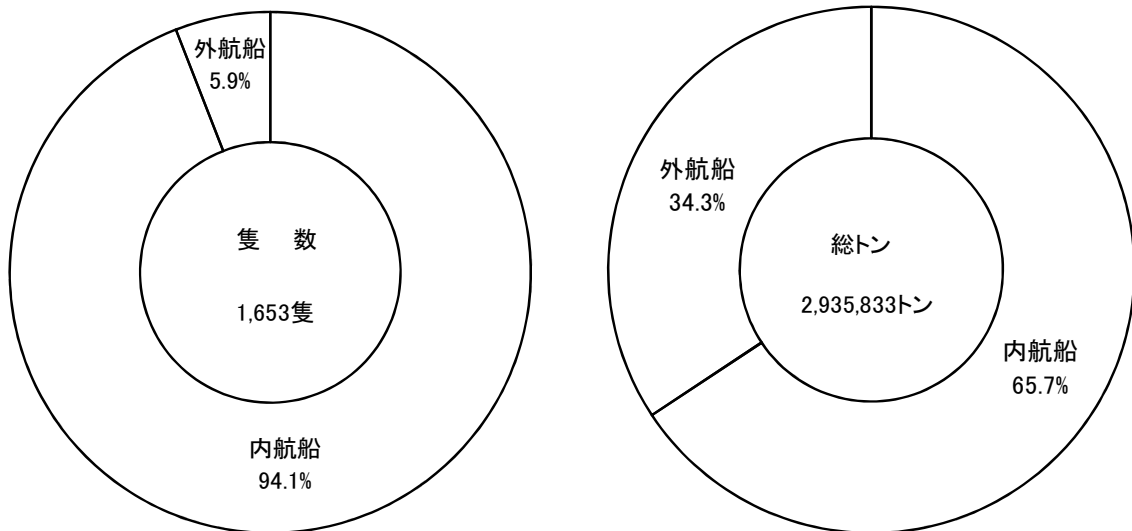
(7) 令和元年田子の浦港海上出入貨物の構成



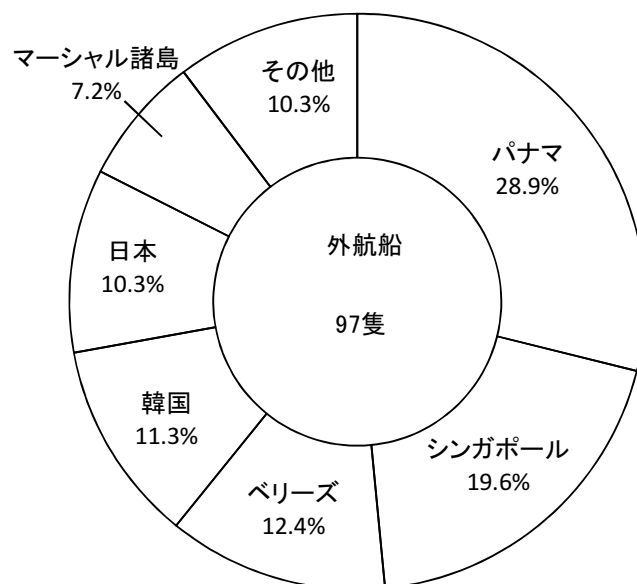
資料:令和元年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

(8) 令和元年田子の浦港入港船舶の構成

<外内航船の割合>



<外航船の国籍>



資料：令和元年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

## (9) 田子の浦港入港船舶の推移

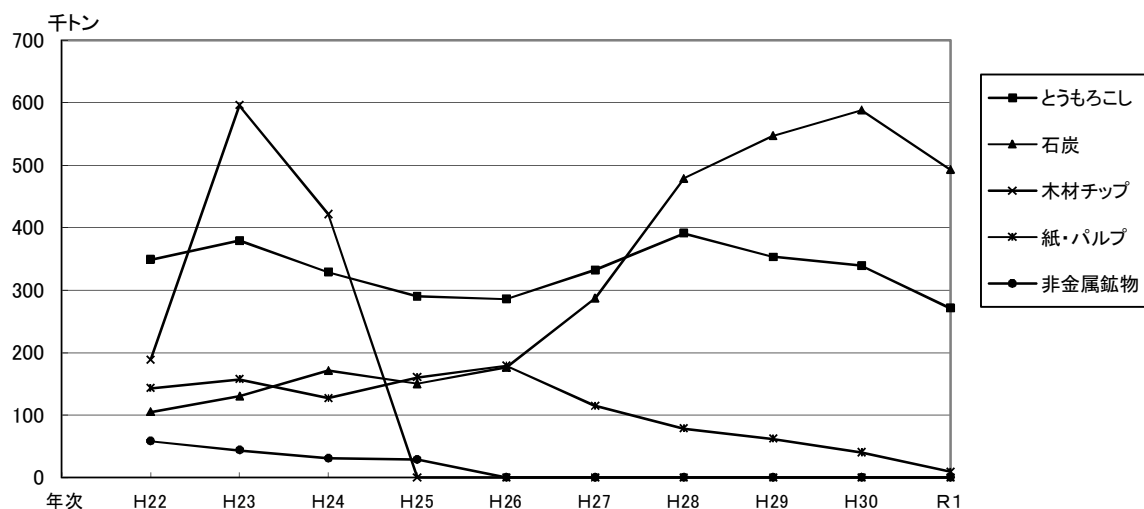
年	合 計		外航船		内航船		H30 年対比 (%)	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
H15	3,733	5,882,107	247	3,123,636	3,486	2,758,471	221.3	172.8
H16	3,822	6,581,283	247	3,711,640	3,575	2,869,643	226.6	193.4
H17	3,716	6,418,372	244	3,489,629	3,472	2,928,743	220.3	188.6
H18	3,697	6,169,209	259	3,206,691	3,438	2,962,518	219.1	181.3
H19	3,466	5,704,114	245	3,008,055	3,221	2,696,059	205.5	167.6
H20	3,413	4,472,387	189	1,819,454	3,224	2,652,933	202.3	131.4
H21	2,804	3,745,284	157	1,558,998	2,647	2,186,286	166.2	110.1
H22	2,922	3,518,562	151	1,226,498	2,771	2,292,064	173.2	103.4
H23	2,850	3,978,212	146	1,766,593	2,704	2,211,619	168.9	116.9
H24	2,625	3,555,349	133	1,489,931	2,492	2,065,418	155.6	104.5
H25	2,334	2,947,440	133	1,095,567	2,201	1,851,873	138.4	86.6
H26	2,189	2,968,844	115	1,092,321	2,074	1,876,523	129.8	87.2
H27	2,039	3,100,366	124	1,235,922	1,915	1,864,444	120.9	91.1
H28	1,936	3,303,977	108	1,415,904	1,828	1,888,073	114.8	97.1
H29	1,828	3,276,128	113	1,436,797	1,715	1,839,331	108.4	96.3
H30	1,687	3,403,225	116	1,454,594	1,571	1,948,631	100.0	100.0
R 1	1,653	2,935,833	97	1,008,324	1,556	1,927,509	98.0	86.3

資料：令和元年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

## (10) 主要輸入品の年次推移

単位:千トン

年次 品名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
とうもろこし	349	379	329	290	286	332	391	353	339	271
石 炭	105	130	171	150	176	287	479	547	588	493
木材チップ	188	596	422	0	0	0	0	0	0	0
紙・パルプ	143	157	127	160	179	115	78	62	40	9
非金属鉱物	58	44	31	29	0	0	0	0	0	0

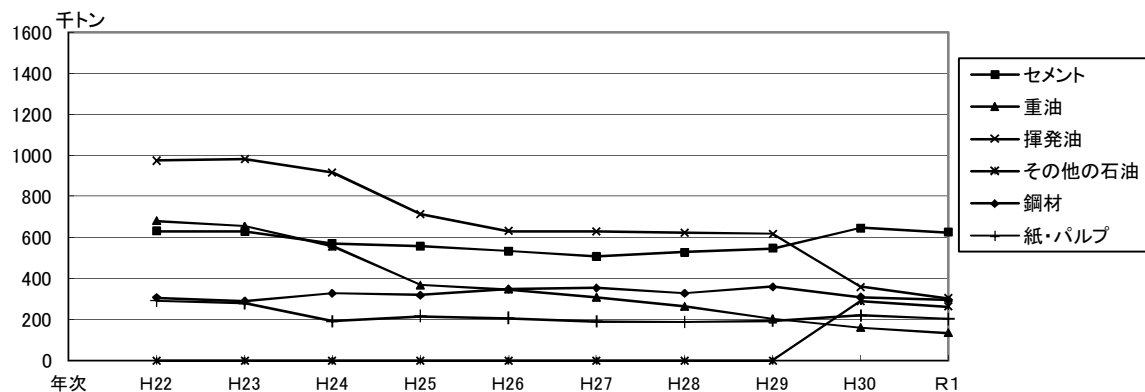


## (11) 主要移入品の年次推移

単位:千トン

年次 品名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
セメント	631	629	570	557	533	507	528	546	647	625
重 油	680	656	556	368	347	307	264	202	160	134
揮 発 油 (H29まで石油製品)	974	982	917	714	631	630	623	617	359	303
その他の石油	-	-	-	-	-	-	-	-	290	262
鋼 材	305	289	327	318	348	354	327	360	309	296
紙・パルプ	291	278	191	215	207	189	188	192	220	203

※H30から「石油製品」は「揮発油」と「その他の石油」に分類して集計



資料：令和元年 田子の浦港管理事務所「港湾統計年報」

## V 富士市の工業基盤・資源の概要

### 1 工業用水道

#### (1) 東駿河湾工業用水道

富士市及び静岡市の一部からなる東駿河湾地域は、地下水や富士川、安倍川等の豊富な流水に恵まれ、紙パルプ、化学、石油、食料品、非鉄金属工業等を中心に工業が発達した。

これらの工業の発展と港湾、道路等産業基盤整備による新規工場の立地と相まって、両地区とも工業用水の需要が急速に増大し、特に、岳南地区では地下水の過剰揚水により地下水位が著しく低下するとともに、塩水混入の現象が顕著になり、その影響範囲も急速に拡大した。

このような中で、静岡県は、流域の工場の水需要に応じるとともに、地下水保全のため、日本軽金属株式会社蒲原工場の発電放流水を利用し、給水能力日量 1,316,000 m<sup>3</sup>の工業用水道建設計画を立て、昭和 41 年度に着工、昭和 46 年 12 月から一部給水を開始した。東駿河湾工業用水道は、現在 793,100 m<sup>3</sup>/日の給水能力を備えている。

#### ア 施設の概要

給 水 区 域		静岡市、富士市			
給 水 量			岳南地区	静岡庵地区	計
		計 画 給 水 量	1,081,000 m <sup>3</sup> ／日	235,000 m <sup>3</sup> ／日	1,316,000 m <sup>3</sup> ／日
		現 況 給 水 能 力	675,600 m <sup>3</sup> ／日	117,500 m <sup>3</sup> ／日	793,100 m <sup>3</sup> ／日
給 水 開 始 年 月 日		昭和 46 年 12 月 26 日 一部給水			
工 期		昭和 41 年度～昭和 60 年度（第 1 期工事）			
水 源	種 別	表流水			
	河 川 名	富士川			
	取 水 地 点	静岡市清水区蒲原地先（日本軽金属発電放水路）			
	計 画 取 水 量	1,415,000 m <sup>3</sup> ／日（16.377 m <sup>3</sup> ／秒）			
施 設	取 送 配 水 場	取水場 1 浄水場 2			
	浄 水 方 式	傾斜板付薬品横流沈殿 沈砂池 8 沈殿池 28			
	送 配 水 方 式	ポンプ圧送 取水 4 台 中継 4 台 送水 3 台 配水池 3 受水槽 1			
	管 路 延 長	98 k mダクタイル铸铁管 他			
	水 質 （5 年平均）	水温 15.6℃ 濁度 1.2 p H7.5（富士川浄水場） 水温 15.5℃ 濁度 2.7 p H7.5（厚原浄水場）			
料 金	選 択	基本料金 13 円／m <sup>3</sup> 使用料金 3 円／m <sup>3</sup> 超過料金 32 円／m <sup>3</sup>		基本使用料金 16 円／m <sup>3</sup> 超過料金 32 円／m <sup>3</sup>	

#### イ 年度別給水状況

単位：立方メートル

区分 年度	給水先数 (事業所)	年間基本 使用水量	年 間 実 使用水量		給水収益 (税込み、千円)
				1 日平均水量	
H27	101	148,737,461	97,419,657	266,174	2,424,504
H28	99	146,890,017	96,920,168	265,535	2,406,123
H29	100	146,765,364	96,678,759	264,873	2,408,130
H30	98	135,631,792	92,132,023	252,416	2,218,569
R 1	95	134,789,509	90,028,314	245,979	2,217,994

資料：静岡県企業局「企業局概要」

## (2) 富士川工業用水道

富士市周辺は、昔から豊富で良質な地下水をもってその名を知られたところであり、明治期以降には近代製紙産業、パルプ工業が集積したが、田子の浦港の整備等と相まって岳南工業地域としてめざましい発展を遂げた。しかし、工業の発展とともに地下水の汲み上げが増大し、この過剰汲み上げによって地下水位の低下、井戸の相互干渉及び塩水混入の傾向が顕著にあらわれてきたため、214,000 m<sup>3</sup>/日の給水能力をもつ工業用水道施設を計画し、昭和 32 年に農業用水と一部共同工事方式で富士川工業用水道建設に着手した。昭和 39 年 4 月から一部給水を開始し、昭和 41 年度に完成を迎えた。昭和 42 年度からは、全量給水を行っている。

### ア 施設の概要

給 水 区 域		富士市	
計 画 給 水 量		214,000 m <sup>3</sup> /日	
給 水 開 始 年 月 日		昭和 42 年 4 月 1 日（昭和 39 年 4 月 13 日一部給水）	
工 期		昭和 32 年度～昭和 41 年度	
水 源	種 別	表流水（発電所放流水）	
	河 川 名	芝川（富士川支川）	
	取 水 地 点	富士宮市羽鮒（芝富発電所放水路）	
	計 画 取 水 量	214,000 m <sup>3</sup> /日（2,477 m <sup>3</sup> /秒）	
施 設	取 送 配 水 場	取水場 1	
	浄 水 方 式	沈砂池 1（原水）	
	送 配 水 方 式	自然流下	
	管 路 延 長	22 k m（うち、共用ずい道 7 k m）ダクトイル鋳鉄管 他	
	水 質 （5 年 平 均）	水温 12.9℃ 濁度 3.9 p H7.6	
料 金		選 択 基本料金 6.8 円/m <sup>3</sup> 使用料金 0.5 円/m <sup>3</sup> 超過料金 14.6 円/m <sup>3</sup>	基本使用料金 7.3 円/m <sup>3</sup> 超過料金 14.6 円/m <sup>3</sup>

資料：静岡県企業局「企業局概要」

### イ 年度別給水状況

単位：立方メートル

区分 年度	給水先数 （事業所）	年間基本 使用水量	年 間 実 使用水量	1 日平均水量	給水収益 （税込み、千円）
H27	9	33,909,299	21,503,544	58,753	261,074
H28	10	37,376,286	26,398,640	72,325	288,747
H29	11	38,467,049	27,972,932	76,638	298,061
H30	11	38,106,465	26,330,586	72,139	295,390
R 1	12	38,448,106	12,638,763	34,532	293,762

資料：静岡県企業局「企業局概要」

### (3) 工業用水道業種別契約水量の推移

#### ア 東駿河湾工業用水道

単位：(給水先数)，立方メートル／日

	H28. 3. 26	H29. 3. 26	H30. 3. 26	H31. 3. 26	R2. 3. 26
食料品関連	( 8) 38,836	( 8) 26,343	( 8) 26,343	( 7) 25,956	( 6) 25,726
紙・パルプ	(51) 279,651	(49) 279,339	(50) 277,749	(50) 259,118	(48) 256,950
化学・石油	(17) 63,529	(17) 63,529	(16) 51,365	(16) 51,376	(16) 51,376
金属製品	( 5) 8,940	( 5) 8,940	( 5) 8,940	( 5) 8,940	( 5) 8,940
電気・機械	( 4) 12,786	( 4) 12,786	( 4) 12,786	( 4) 12,786	( 4) 12,786
その他	(16) 4,691	(16) 11,491	(16) 11,351	(16) 11,351	(16) 11,351
合計	(101) 408,433	(99) 402,428	(99) 388,534	(98) 369,527	(95) 367,129
静庵地区計	(28) 49,679	(28) 50,619	(28) 50,479	(27) 50,092	(26) 49,262
①岳南地区計	(73) 358,754	(71) 351,809	(71) 338,055	(71) 319,435	(69) 317,867
紙・パルプ	(50) 272,391	(48) 271,139	(49) 269,549	(49) 250,918	(47) 249,350
その他	(23) 86,363	(23) 80,670	(22) 68,506	(22) 68,517	(22) 68,517

#### イ 富士川工業用水道

単位：(給水先数)，立方メートル／日

	H28. 3. 26	H29. 3. 26	H30. 3. 26	H31. 3. 26	R2. 3. 26
食料品関連	－ ( 1)	12,493	( 1) 12,493	( 1) 12,493	( 1) 12,493
繊維工業	－	－	－	－	－
紙・パルプ	( 7) 87,340	( 7) 87,340	( 7) 87,340	( 7) 87,340	( 8) 88,340
化学・石油	( 1) 2,958	( 1) 2,958	( 2) 4,308	( 2) 4,958	( 2) 4,958
その他	( 1) 100	( 1) 100	( 1) 100	( 1) 100	( 1) 100
②合計	( 9) 90,398	(10) 102,891	(11) 104,241	(11) 104,891	(12) 105,891

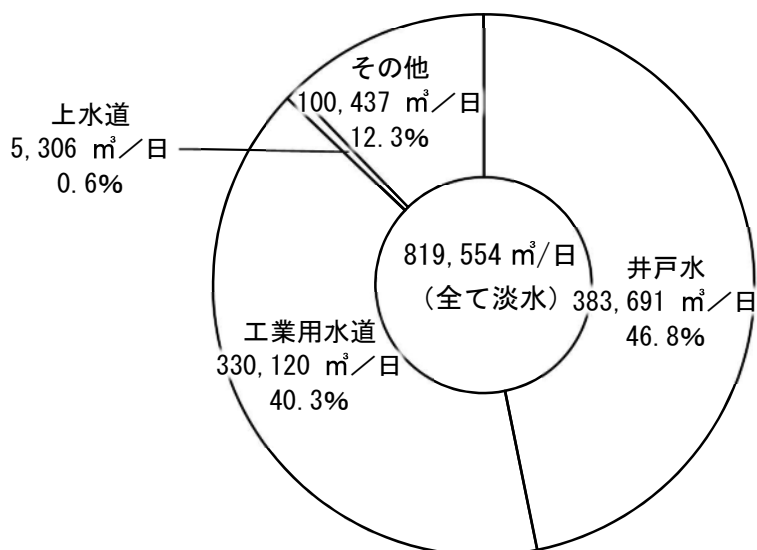
	H28. 3. 26	H29. 3. 26	H30. 3. 26	H31. 3. 26	R2. 3. 26
合計 (富士市①+②)	(82) 449,152	(81) 454,700	(82) 442,296	(82) 424,326	(81) 423,758

資料：静岡県企業局「企業局概要」

## 2 工業用水

### (1) 工業用水利用状況

#### ア 平成 29 年工業用水使用量水源別構成比（従業者 30 人以上の事業所）



資料：富士市「平成 30 年工業統計調査結果」

#### イ 工業用水使用量の推移（従業者 30 人以上の事業所）

年次	事業所数 (事業所)	水源別用水量 (m³/日)						
		総数	公共水道		地表水 及び 伏流水	井戸水	その他	回収水
			工業用 水道	上水道				
H16	215	2,446,656	606,338	5,514	—	433,423	172,698	1,228,683
H17	211	2,385,604	596,229	5,497	—	409,630	168,365	1,205,883
H18	213	2,366,872	585,829	5,908	—	412,943	161,731	1,200,461
H19	216	2,327,832	578,309	5,849	—	406,309	160,762	1,176,603
H20	230	2,295,363	567,322	6,538	—	389,222	119,845	1,212,436
H21	213	2,094,040	513,671	6,351	—	356,805	110,247	1,106,966
H22	205	1,913,441	503,101	5,305	—	381,035	78,619	945,381
H23	220	1,853,326	489,945	5,490	—	381,357	76,140	900,394
H24	208	1,696,965	354,699	6,813	—	395,519	52,937	886,997
H25	212	1,618,214	337,971	4,884	—	390,515	44,045	840,799
H26	206	1,571,516	327,299	4,970	—	353,076	50,765	835,406
H27	223	1,403,267	328,026	4,661	—	381,066	53,208	636,306
H28	230	825,335	335,238	5,231	—	388,816	96,050	—
H29	229	819,554 100.0%	330,120 40.3%	5,306 0.6%	— (—)	383,691 46.8%	100,437 12.3%	— (—)

資料：富士市「平成 30 年工業統計調査結果」

※ 全て淡水 ※ 「—」は該当数値なし。 ※ 平成 29 年の下段は構成比



ウ 平成 29 年産業分類別工業用水利用状況（従業者 30 人以上の事業所）

産業中分類	事業所数 (事業所)	総数	水源別用水量（m <sup>3</sup> /日）					
			公共水道		地表水 及び 伏流水	井戸水	その他	回収水
			工業用 水道	上水道				
総数	229	819,554	330,120	5,306	—	383,691	100,437	—
9 食料品	22	43,541	29,427	1,017	—	12,703	394	—
10 飲料・たばこ・飼料	3	12,129	—	5	—	12,124	—	—
11 繊維工業	2	X	X	X	—	—	—	—
12 木材・木製品	4	578	200	40	—	338	—	—
13 家具・装備品	—	—	—	—	—	—	—	—
14 パルプ・紙	76	678,938	265,089	1,213	—	315,098	97,538	—
15 印刷	2	X	—	X	—	X	—	—
16 化学工業	19	57,467	25,614	1,238	—	28,111	2,504	—
17 石油・石炭	—	—	—	—	—	—	—	—
18 プラスチック製品	21	2,698	174	332	—	2,191	1	—
19 ゴム製品	—	—	—	—	—	—	—	—
20 なめし革・同製品	—	—	—	—	—	—	—	—
21 窯業・土石	2	X	—	X	—	X	—	—
22 鉄鋼業	7	50	—	12	—	38	—	—
23 非鉄金属	—	—	—	—	—	—	—	—
24 金属製品	12	1,354	—	91	—	1,263	—	—
25 はん用機械	7	2,103	8	49	—	2,046	—	—
26 生産用機械	16	5,072	917	866	—	3,289	—	—
27 業務用機械	6	33	—	29	—	4	—	—
28 電子部品・デバイス	5	271	243	28	—	—	—	—
29 電気機械	10	112	44	26	—	42	—	—
30 情報通信機械	—	—	—	—	—	—	—	—
31 輸送機械	12	12,857	8,404	297	—	4,156	—	—
32 その他	3	12	—	12	—	—	—	—
秘匿欄	—	2,339	—	51	—	2,288	—	—

資料：富士市「平成 30 年工業統計調査結果」

- ※ 全て淡水  
 ※ 下線部は重化学工業  
 ※ 「—」は該当数値なし

## (2) 平成 29 年市町別の水源別用水量（従業者 30 人以上の事業所）

市名	事業所数 (事業所)	水源別用水量（m <sup>3</sup> /日）						
		淡水	公共水道		井戸水	その他	回収水	海水
			工業用 水道	上水道				
総 数	2,337	1,887,531	528,841	68,873	995,123	294,694	—	—
静 岡 市	271	127,464	47,667	4,670	56,856	18,271	—	—
浜 松 市	465	57,578	20,425	4,979	31,742	432	—	—
沼 津 市	108	57,343	2,398	2,420	52,496	29	—	—
熱 海 市	—	—	—	—	—	—	—	—
三 島 市	44	12,030	59	1,050	10,917	4	—	—
富 士 宮 市	104	139,555	—	10,029	127,314	2,212	—	—
伊 東 市	2	X	—	X	X	—	—	—
島 田 市	69	194,916	—	1,379	25,643	167,894	—	—
富 士 市	229	819,554	330,120	5,306	383,691	100,437	—	—
磐 田 市	170	46,699	7,404	3,720	34,685	890	—	—
焼 津 市	141	36,724	—	11,710	24,868	146	—	—
掛 川 市	100	17,550	2,191	4,958	8,374	2,027	—	—
藤 枝 市	91	56,818	—	3,176	53,630	12	—	—
御 殿 場 市	50	14,162	2,560	364	10,944	294	—	—
袋 井 市	85	18,693	11,165	1,911	5,217	400	—	—
下 田 市	3	137	—	136	—	1	—	—
裾 野 市	32	22,542	—	284	21,197	1,061	—	—
湖 西 市	60	13,818	9,532	971	3,315	—	—	—
伊 豆 市	7	190	—	148	42	—	—	—
御 前 崎 市	24	1,645	619	931	93	2	—	—
菊 川 市	41	1,863	268	1,536	—	59	—	—
伊豆の国市	25	1,978	—	1,939	31	8	—	—
牧 之 原 市	54	5,856	2,307	3,548	1	—	—	—

資料：静岡県「平成 30 年工業統計調査報告書」

※ 「—」は該当数値なし、「X」は秘匿箇所

※ 郡（町）以下省略

### 3 工業排水（岳南排水路）

#### (1) 概要

岳南排水路は、用水型企业の多い岳南地区において、工業の発展に伴い工場排水が耕地等に流入しないようにするため、昭和 26 年度から整備されてきた工業専用の都市下水路である。

対象地域は富士市と富士宮市にわたり、86 の工場からの排水が 2 か所の吐口を経て、田子の浦港に流入している。

管路の総延長は約 38 キロメートル、1 日の排水能力は約 180 万立方メートルで、排水量に応じた使用料金を徴収している。管理は、岳南排水路管理組合で行っている。

#### (2) 岳南排水路の利用状況（令和元年度）

岳南排水路から田子の浦港に流入した工場排水量の実績は、年間 223,854,413 立方メートル、日量は、65 万立方メートルと推定される。排水量上位 10 工場の排水は、全体の 51.4 パーセントを占めている。

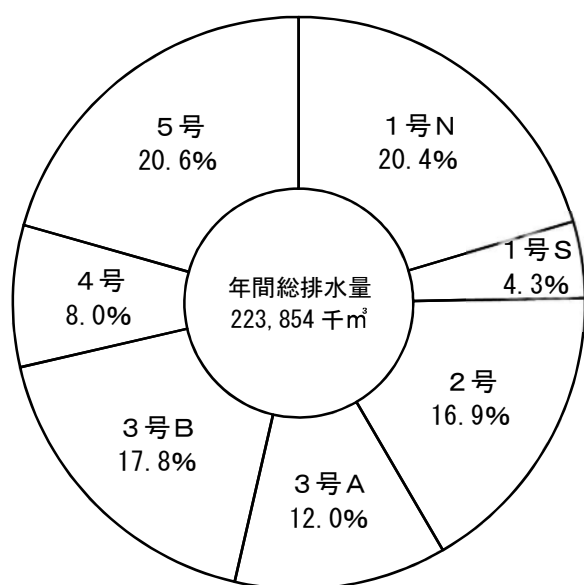
##### ア 排水管路別工場数（令和 2 年 2 月末現在）

管路名	富士宮市	富士市							合計
	1 号 N	1 号 N	1 号 S	2 号	3 号 A	3 号 B	4 号	5 号	
工場数	8/9	15/19	13/14	17/23	7/7	6/7	3/3	5/5	74/87

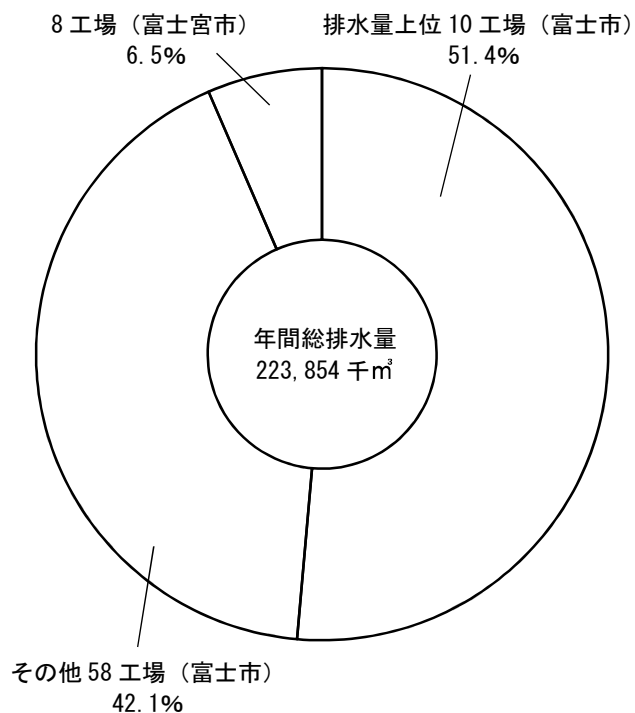
※実稼働工場数／使用工場数

資料：岳南排水路管理組合

##### イ 管路別年間排出量 （平成 30 年度）

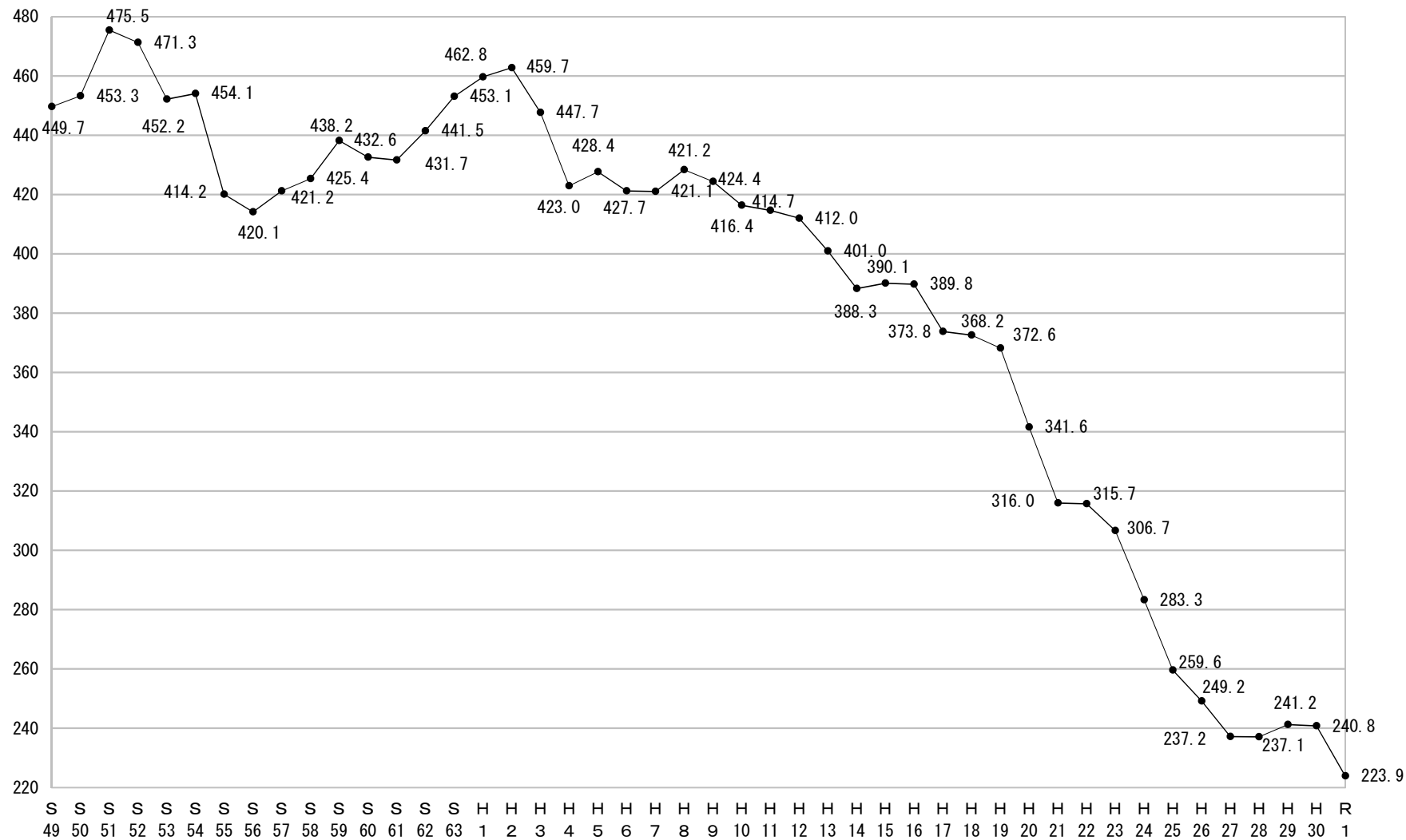


##### ウ 事業所別排出量の割合 （休止工場は含まず。）



## エ 年間総排水量の経年変化

(百万 $\text{m}^3$ )





## 富士市の工業（令和２年度）

---

令和２年７月発行

編集・発行 富士市 産業経済部 産業政策課  
〒417-8601 静岡県富士市永田町１丁目 100 番地  
TEL. 0545-55-2779 / FAX. 0545-51-1997  
E-mail sa-sangyou@div.city.fuji.shizuoka.jp

---

行政資料登録番号 R 2 - 1 5
--------------------